

(4) 地形及び地質の状況

1) 国立公園、国定公園、県立自然公園、県自然環境保全地域等の分布

山梨県内の自然公園は、国立公園 3 箇所、国定公園 1 箇所、県立自然公園 2 箇所が指定されている。自然公園の面積は県土の 27.1%を占め、これらの自然公園は、四季を通じて多くの人々に利用され、平成 23 年には 3,596 万人が県内の自然公園を訪れている。なお、県内には自然環境保全法に基づく自然環境保全地域の指定はない。

対象事業実施区域及びその周囲の国立公園、国定公園、県立自然公園の指定状況は、図 4-2-1-14 及び表 4-2-1-58 に示すとおりであり、県立自然公園が 1 箇所指定されている。

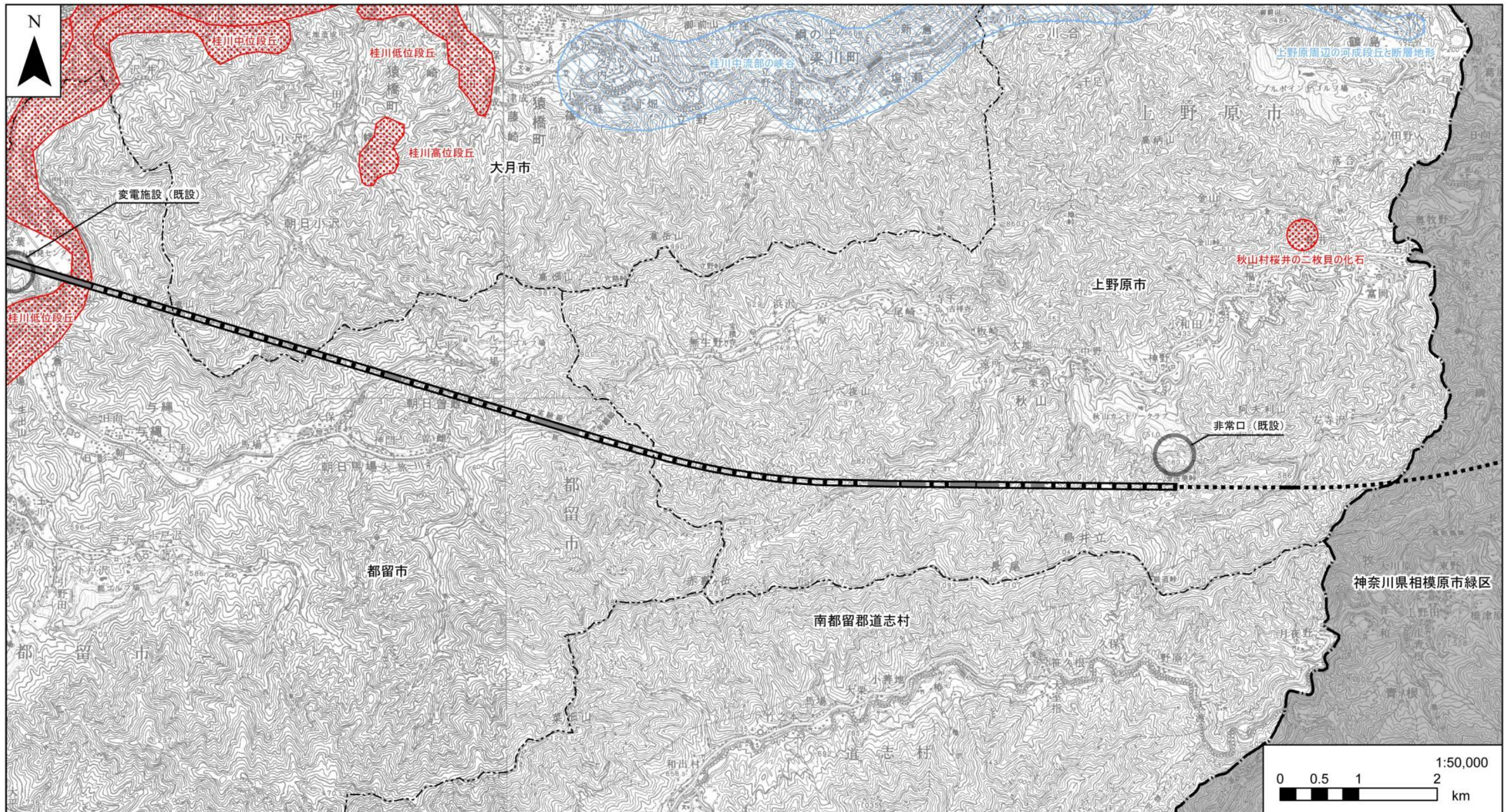
表 4-2-1-58 自然公園等の指定状況

区分	公園名	地域	公園指定				県土面積に対する比率	摘要 (ha)	
			指定年月日	面積 (ha)	特別地域 (ha)	普通地域 (ha)			
県立自然公園	南アルプス巨摩	北杜市、南アルプス市、韮崎市、富士川町、身延町、早川町	昭和 41 年 4 月 1 日	14,841	14,841	-	3.3	第 1 種	113
								第 2 種	557
								第 3 種	14,171

資料：「やまなしの環境（平成 24 年度版）」（平成 25 年 2 月、山梨県森林環境部森林環境総務課）







凡例

- |                      |          |              |                      |
|----------------------|----------|--------------|----------------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))    | --- 都県境  | ■ 自然公園地域     | ▨ 重要な地形・地質(危機にある地形)  |
| — 計画路線(既設区間(地上部))    | --- 市町村境 | ■ 自然公園特別地域   | ▨ 重要な地形・地質(保存すべき地形)  |
| ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 自然公園特別保護地区 | ■ すぐれた自然(地形・地質・自然現象) |
| ▨ 計画路線(既設区間(トンネル部))  |          |              | ■ 天然記念物(地形・地質)       |
| ●●● 工事用道路            |          |              |                      |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「山梨県自然環境保全図」（平成21年6月、山梨県森林環境部みどり自然課）  
 「やまなしの環境（平成24年度版）」（平成25年2月、山梨県森林環境部森林環境総務課）  
 「第1回自然環境保全基礎調査 山梨県のすぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）  
 「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版-危機にある地形-」（平成12年8月、小泉武栄・青木賢人編）  
 「日本の地形レッドデータブック 第2集 新装版-保存すべき地形-」（平成14年3月、小泉武栄・青木賢人編）  
 「山梨の文化財（史跡・名勝・天然記念物）」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）  
 「山梨県天然記念物緊急調査報告書-地質・鉱物-」（平成8年、山梨県教育委員会）  
 峡東林務環境事務所資料

図 4-2-1-14(1) 地形及び地質の状況図





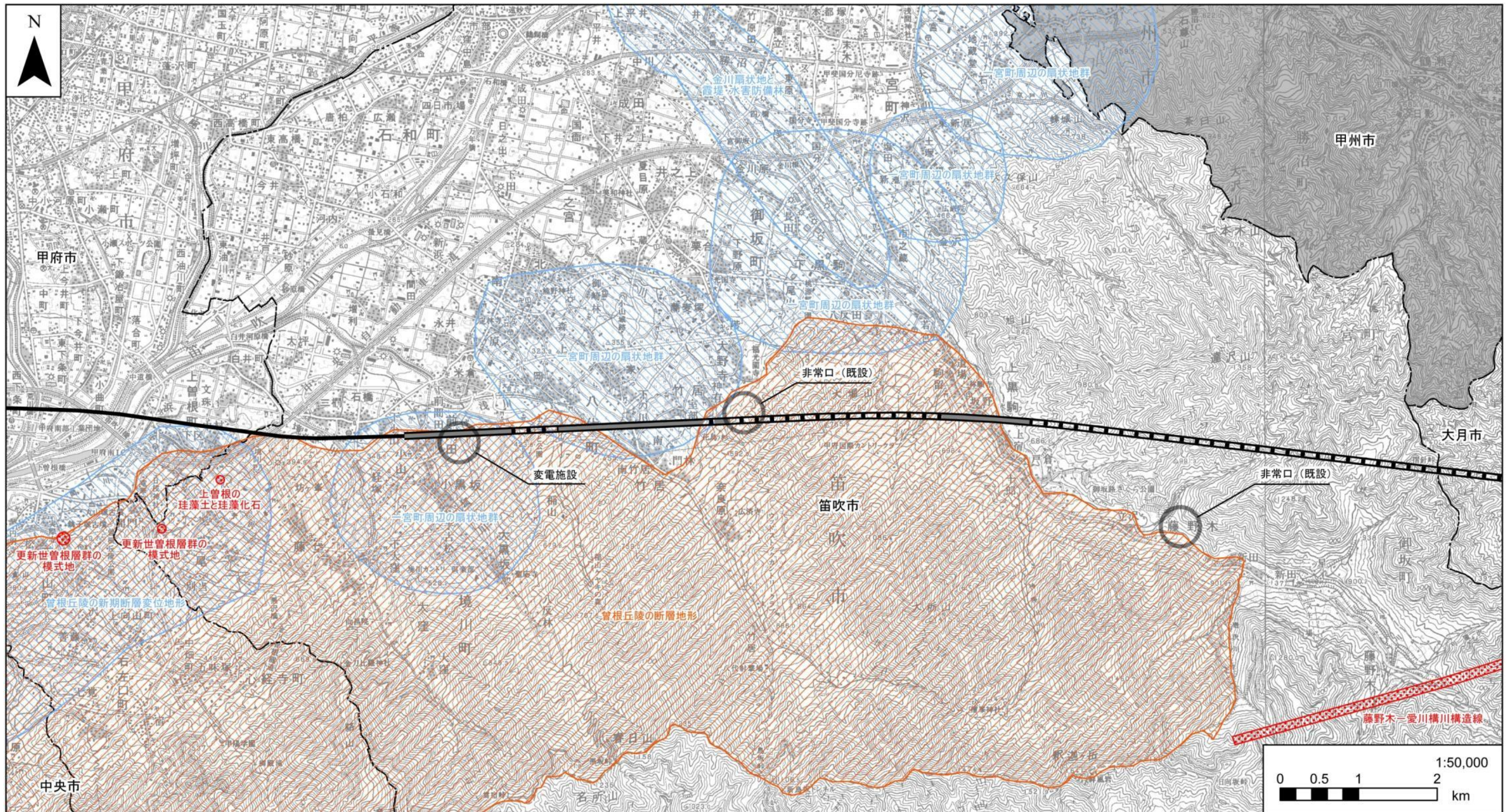












凡例

- |                      |          |              |                      |
|----------------------|----------|--------------|----------------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))    | --- 都県境  | ■ 自然公園地域     | ▨ 重要な地形・地質(危機にある地形)  |
| — 計画路線(既設区間(地上部))    | --- 市町村境 | ■ 自然公園特別地域   | ▨ 重要な地形・地質(保存すべき地形)  |
| ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 自然公園特別保護地区 | ▨ すぐれた自然(地形・地質・自然現象) |
| ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))  |          |              | ■ 天然記念物(地形・地質)       |
| ●●● 工事用道路            |          |              |                      |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

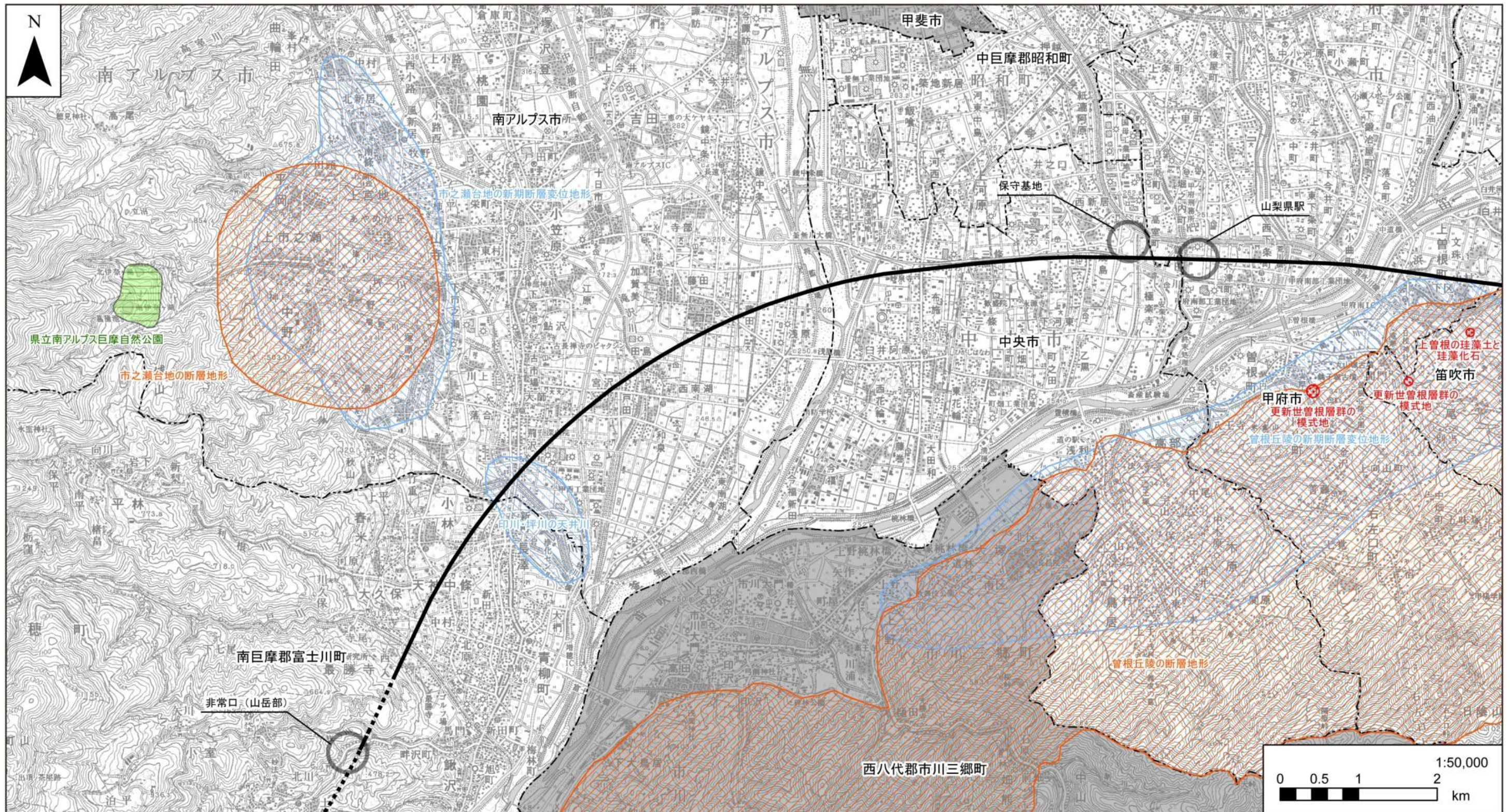
資料：「山梨県自然環境保全図」（平成21年6月、山梨県森林環境部みどり自然課）  
「やまなしの環境（平成24年度版）」（平成25年2月、山梨県森林環境部森林環境総務課）  
「第1回自然環境保全基礎調査 山梨県のすぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）  
「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版-危機にある地形-」（平成12年8月、小泉武栄・青木賢人編）  
「日本の地形レッドデータブック 第2集 新装版-保存すべき地形-」（平成14年3月、小泉武栄・青木賢人編）  
「山梨の文化財（史跡・名勝・天然記念物）」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）  
「山梨県天然記念物緊急調査報告書-地質・鉱物-」（平成8年、山梨県教育委員会）  
峡東林務環境事務所資料

図 4-2-1-14(3) 地形及び地質の状況図









凡例

- |                      |          |              |                      |
|----------------------|----------|--------------|----------------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))    | --- 都県境  | ■ 自然公園地域     | ▨ 重要な地形・地質(危機にある地形)  |
| — 計画路線(既設区間(地上部))    | --- 市町村境 | ■ 自然公園特別地域   | ▨ 重要な地形・地質(保存すべき地形)  |
| ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 自然公園特別保護地区 | ■ すぐれた自然(地形・地質・自然現象) |
| ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))  |          |              | ■ 天然記念物(地形・地質)       |
| ●●● 工事用道路            |          |              |                      |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

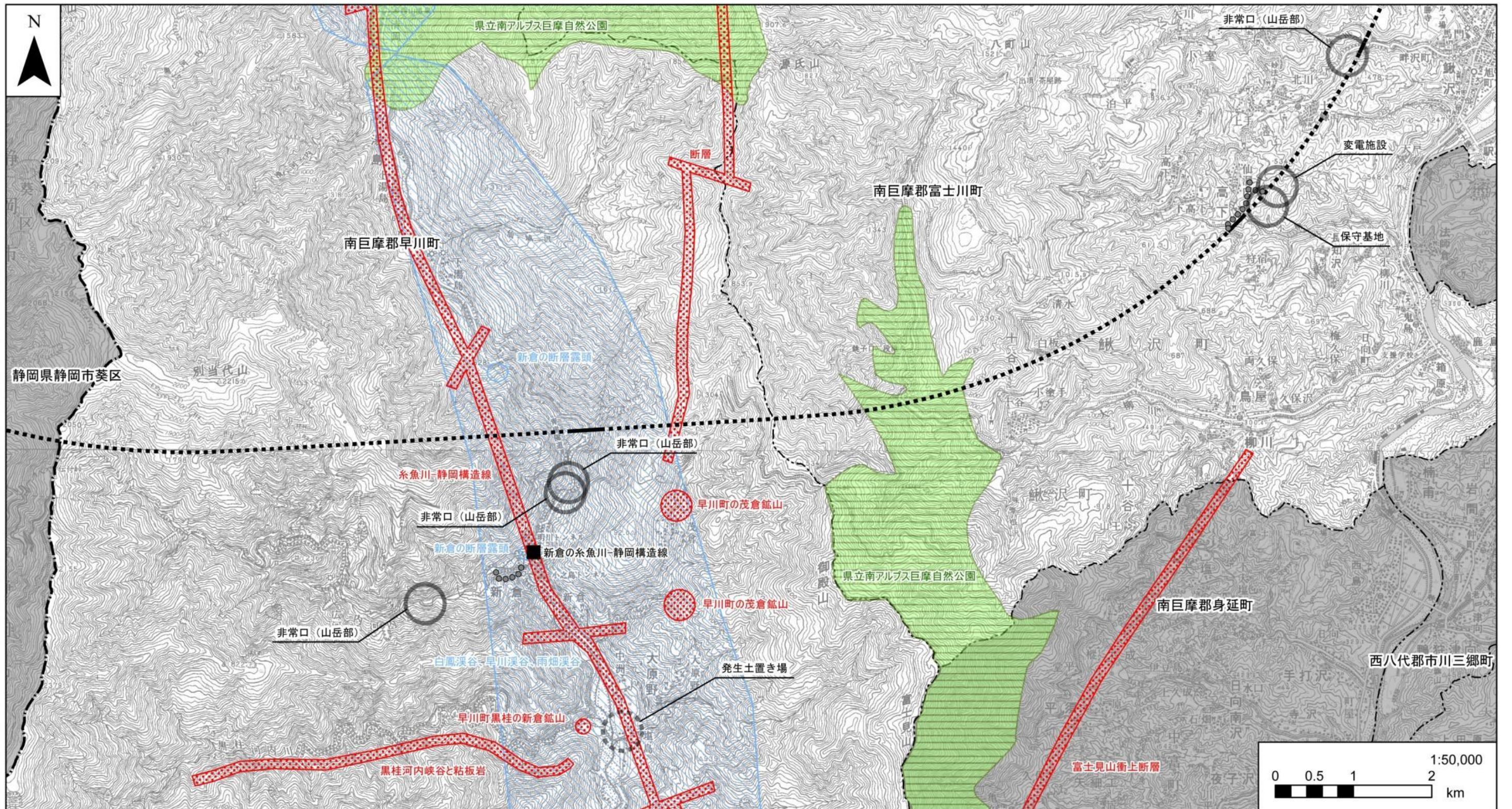
資料：「山梨県自然環境保全図」（平成21年6月、山梨県森林環境部みどり自然課）  
 「やまなしの環境（平成24年度版）」（平成25年2月、山梨県森林環境部森林環境総務課）  
 「第1回自然環境保全基礎調査 山梨県のすぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）  
 「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版-危機にある地形-」（平成12年8月、小泉武栄・青木賢人編）  
 「日本の地形レッドデータブック 第2集 新装版-保存すべき地形-」（平成14年3月、小泉武栄・青木賢人編）  
 「山梨の文化財（史跡・名勝・天然記念物）」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）  
 「山梨県天然記念物緊急調査報告書-地質・鉱物-」（平成8年、山梨県教育委員会）  
 峡東林務環境事務所資料

図 4-2-1-14(4) 地形及び地質の状況図









凡例

- |                      |          |              |                      |
|----------------------|----------|--------------|----------------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))    | --- 都県境  | ■ 自然公園地域     | ▨ 重要な地形・地質(危機にある地形)  |
| — 計画路線(既設区間(地上部))    | --- 市町村境 | ■ 自然公園特別地域   | ▨ 重要な地形・地質(保存すべき地形)  |
| ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 自然公園特別保護地区 | ■ すぐれた自然(地形・地質・自然現象) |
| ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))  |          |              | ■ 天然記念物(地形・地質)       |
| ●●● 工事用道路            |          |              |                      |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「山梨県自然環境保全図」（平成21年6月、山梨県森林環境部みどり自然課）  
「やまなしの環境（平成24年度版）」（平成25年2月、山梨県森林環境部森林環境総務課）  
「第1回自然環境保全基礎調査 山梨県のすぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）  
「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版-危機にある地形-」（平成12年8月、小泉武栄・青木賢人編）  
「日本の地形レッドデータブック 第2集 新装版-保存すべき地形-」（平成14年3月、小泉武栄・青木賢人編）  
「山梨の文化財（史跡・名勝・天然記念物）」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）  
「山梨県天然記念物緊急調査報告書-地質・鉱物-」（平成8年、山梨県教育委員会）  
峡東林務環境事務所資料

図 4-2-1-14(5) 地形及び地質の状況図







## 2) 重要な地形及び地質の状況

対象事業実施区域及びその周囲の重要な地形及び地質を図 4-2-1-14 に示す。

対象事業実施区域及びその周囲の「第 1 回自然環境保全基礎調査 山梨県のすぐれた自然図」（昭和 51 年、環境庁）に記載されているすぐれた地形・地質・自然現象を表 4-2-1-59 に、「日本の地形レッドデータブック第 1 集」（平成 12 年 8 月、小泉武栄・青木賢人編）及び「日本の地形レッドデータブック第 2 集」（平成 14 年 3 月、小泉武栄・青木賢人編）に記載されている地形・地質を表 4-2-1-60 に示す。これによると、対象事業実施区域及びその周囲では、甲府盆地に広がる扇状地に関する地形や断層崖、桂川や早川による溪谷等が存在する。

文化財保護法に規定する地形、地質に係る天然記念物は、表 4-2-1-61 に示すとおりであり、国指定が 1 件指定されている。

**表 4-2-1-59 「山梨県のすぐれた自然」の地形・地質・自然現象**

番号	地域	内容
24	上野原市	秋山村桜井の二枚貝化石
52	大月市・笛吹市	藤野木－愛川構川構造線
21	大月市	下真木の垂炭ならびに植物化石
63		桂川低位段丘
64		桂川中位段丘
65		中新世富士川統、桂川累層の模式地
66		桂川高位段丘
67	大月市・都留市	富士熔岩流
22	都留市	都留市の宝鉦山
68		三ヶ峠礫岩の大露頭
84	笛吹市・甲府市	更新世曾根層群の模式地
20	笛吹市	上曾根の珪藻土と珪藻化石
96	富士川町	富士見山衝上断層
93	富士川町・早川町	断層
25	早川町	早川町の茂倉鉦山
26		早川町黒桂の新倉鉦山
92		糸魚川－静岡構造線
97		黒桂河内峡谷と粘板岩

注1. 表中の番号は、資料図書において使用しているものをそのまま掲載した。

資料：「第 1 回自然環境保全基礎調査 山梨県のすぐれた自然図」（昭和 51 年、環境庁）



表 4-2-1-60 「日本の地形レッドデータブック」の地形、地質

行政区分	カテゴリー	保存すべき地形	地形の特性	選定基準 (注2)	ランク (注3)	保全状況
上野原市	I(変動地形) III(河川をつくる地形)	上野原周辺の河成段丘 と断層地形	河成段丘、新期 断層変位地形	①③	B	指定なし
上野原市 大月市	III(河川をつくる地形)	桂川中流部の峡谷	峡谷	②	B	指定なし
笛吹市	III(河川をつくる地形)	一宮町周辺の扇状地群	扇状地	②③	B	指定なし
笛吹市	III(河川をつくる地形) VII(その他の重要な地 形)	金川扇状地と霞堤・水 害防備林	扇状地、霞堤、 水害防備林	②③	B, C	県立公園
笛吹市 甲府市 中央市	I(変動地形)	曾根丘陵の断層地形	新期断層変位 地形、活撓曲崖	②	C	指定なし
笛吹市 甲府市 中央市	I(変動地形)	曾根丘陵の新期断層変 位地形	新期断層変位 地形、撓曲、 低断層崖	②	C	指定なし
南アルプス市	I(変動地形)	市之瀬台地の断層地形	新期断層変位 地形、活撓曲崖	②	C	指定なし
南アルプス市	I(変動地形)	市之瀬台地の新期断層 変位地形	新期断層変位 地形、撓曲、 低断層崖	②	B, D	指定なし
南アルプス市	III(河川をつくる地形)	印川・坪川天井川	天井川	③	B	指定なし
南アルプス市 早川町	III(河川をつくる地形)	白鳳溪谷、早川溪谷、 雨畑溪谷	溪谷、滝、穿入 蛇行、環流丘陵	②	B, C	国立公園 (南アルプス)
早川町	I(変動地形)	新倉の断層露頭	断層露頭	②	A	天然記念物

注1. 「行政区分」については、対象事業実施区域を含む周辺市町村のみ記載した。

注2. 選定基準

- ①: 日本の地形を代表する典型的かつ希少、貴重な地形
- ②: ①に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形
- ③: 多数存在するが、なかでも典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形
- ④: 動物や植物の生息地として重要な地形

注3. ランク

- A: 現在の保存状態がよく、今後もその継続が求められる地形
- B: 現時点で低強度の破壊を受けている地形。今後、破壊が継続されれば消滅が危惧される
- C: 現在著しく破壊されつつある地形。また、大規模開発計画などで破壊が危惧される地形
- D: 重要な地形でありながら、すでに破壊されて、現存しない地形

資料: 「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版-危機にある地形-」  
(平成12年8月、小泉武栄・青木賢人編)  
「日本の地形レッドデータブック 第2集 新装版-保存すべき地形-」  
(平成14年3月、小泉武栄・青木賢人編)

表 4-2-1-61 文化財保護法の天然記念物(地形・地質)

No.	指定別	種別	名称	指定 年月日	所在地
1	国指定 天然記念物	鉱物	新倉の糸魚川-静岡構造線	平成13年 8月13日	早川町大字新倉字明川 2913 内 1

資料: 「山梨の文化財(史跡・名勝・天然記念物)」(平成25年6月現在、山梨県ホームページ)



### 3) 沿線地域の地形、地質

#### ア. 地形

対象事業実施区域及びその周囲の地形分類図を図 4-2-1-15 に示す。

山梨県は、周囲を壮年期の山地や火山地に囲まれた内陸県であり、代表的な山地には、3,000m 級の峰を有する南アルプス（赤石山脈）、2,000m 級の関東山地（秩父山地）、御坂山地などが存在する。秀麗な姿で人々の目を楽しませている富士山と八ヶ岳は、新しい火山ですぐれた景観を形成している。

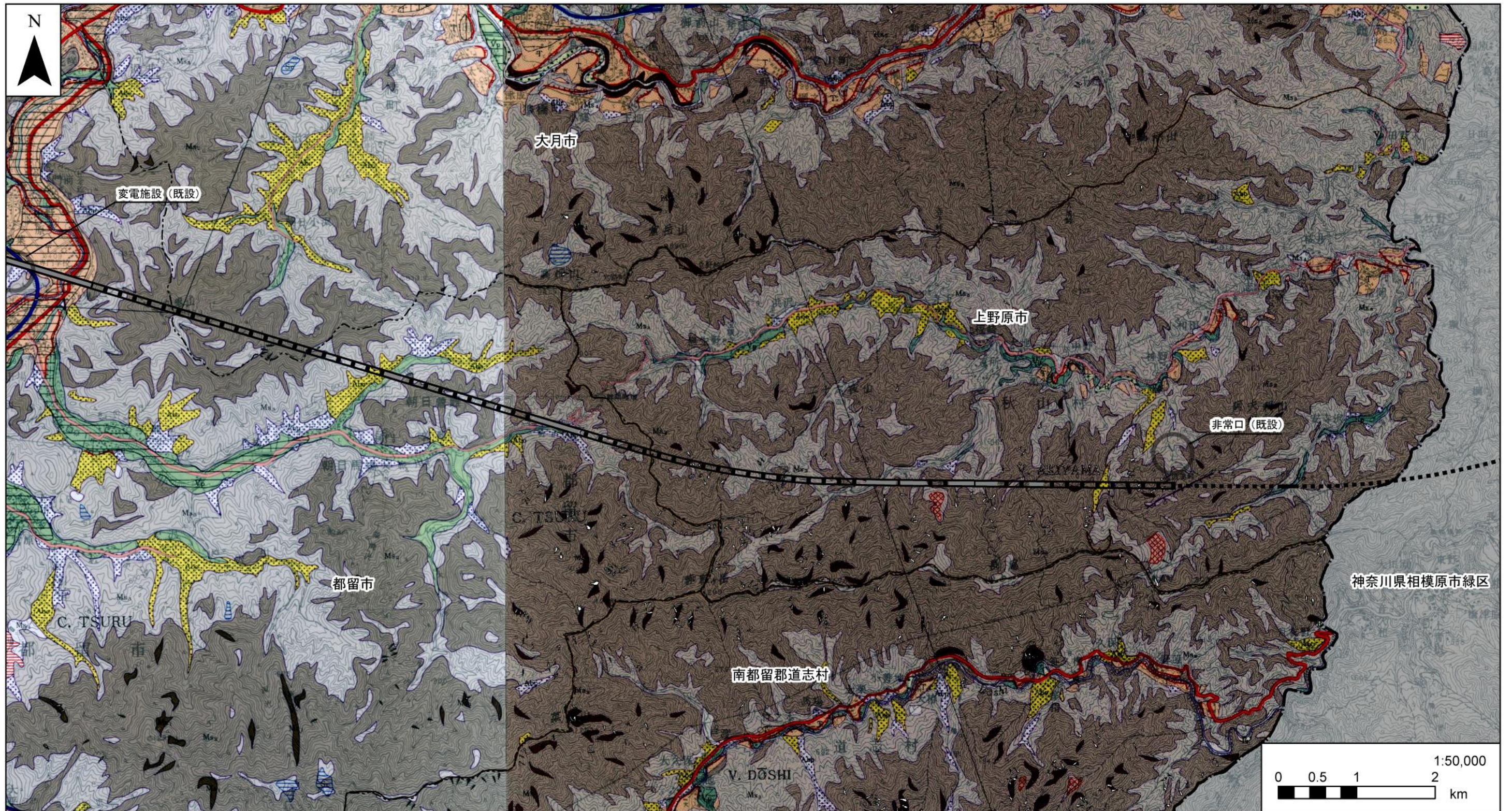
水系は、3つの一級水系と3つの二級水系が存在する。南アルプスを源流の北端とし、県西部を縦断し南に流れる富士川水系は日本三大急流のひとつに数えられ、流域面積は3,990km<sup>2</sup>（うち山梨県分3,115km<sup>2</sup>）となっている。相模川水系は、流域面積が1,680km<sup>2</sup>（うち山梨県分978km<sup>2</sup>）であり、山中湖を源として、深い溪谷を形成しながら県東部を東に流れる。多摩川水系は、流域面積が1,240km<sup>2</sup>（うち山梨県分257km<sup>2</sup>）で、関東山地を源流とし、県東北部の豊かな森林地帯を東に流れる。西湖、精進湖及び本栖湖の3湖は二級水系で、いずれも富士山の噴火活動によりできたせき止め湖であり、流出河川を持たない閉鎖水域になっている。

また、低地（扇状地・三角州）は、県土面積の9.8%を占め、主に甲府盆地に分布し、その大部分は扇状地性のものである。その他、低地と山地の中間に丘陵地や台地が、また河川沿いには河岸段丘が分布している。









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 凡例は、図4-2-1-15(6)に示す。

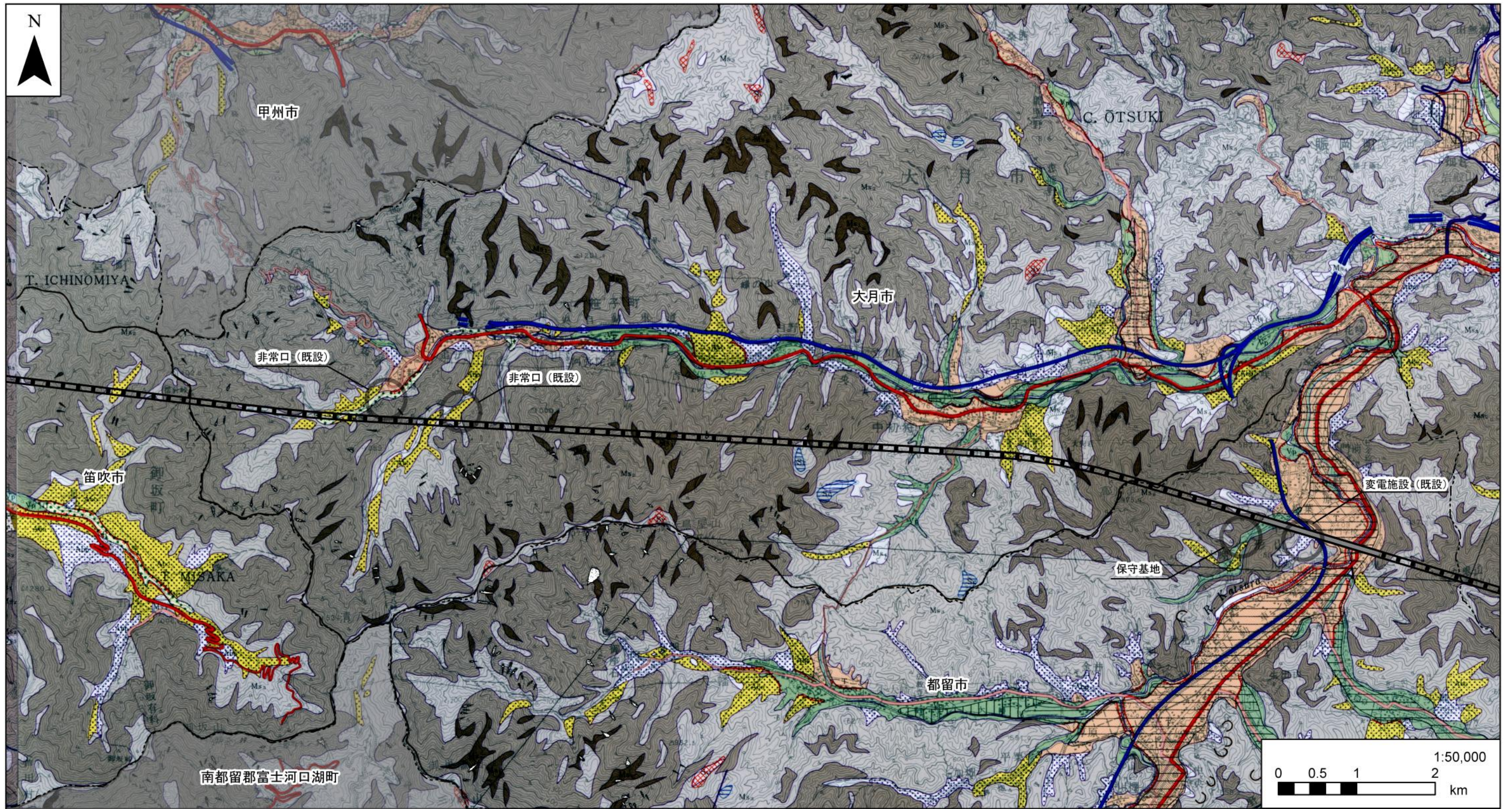
本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鯉沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-15(1) 地形分類図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 凡例は、図4-2-1-15(6)に示す。

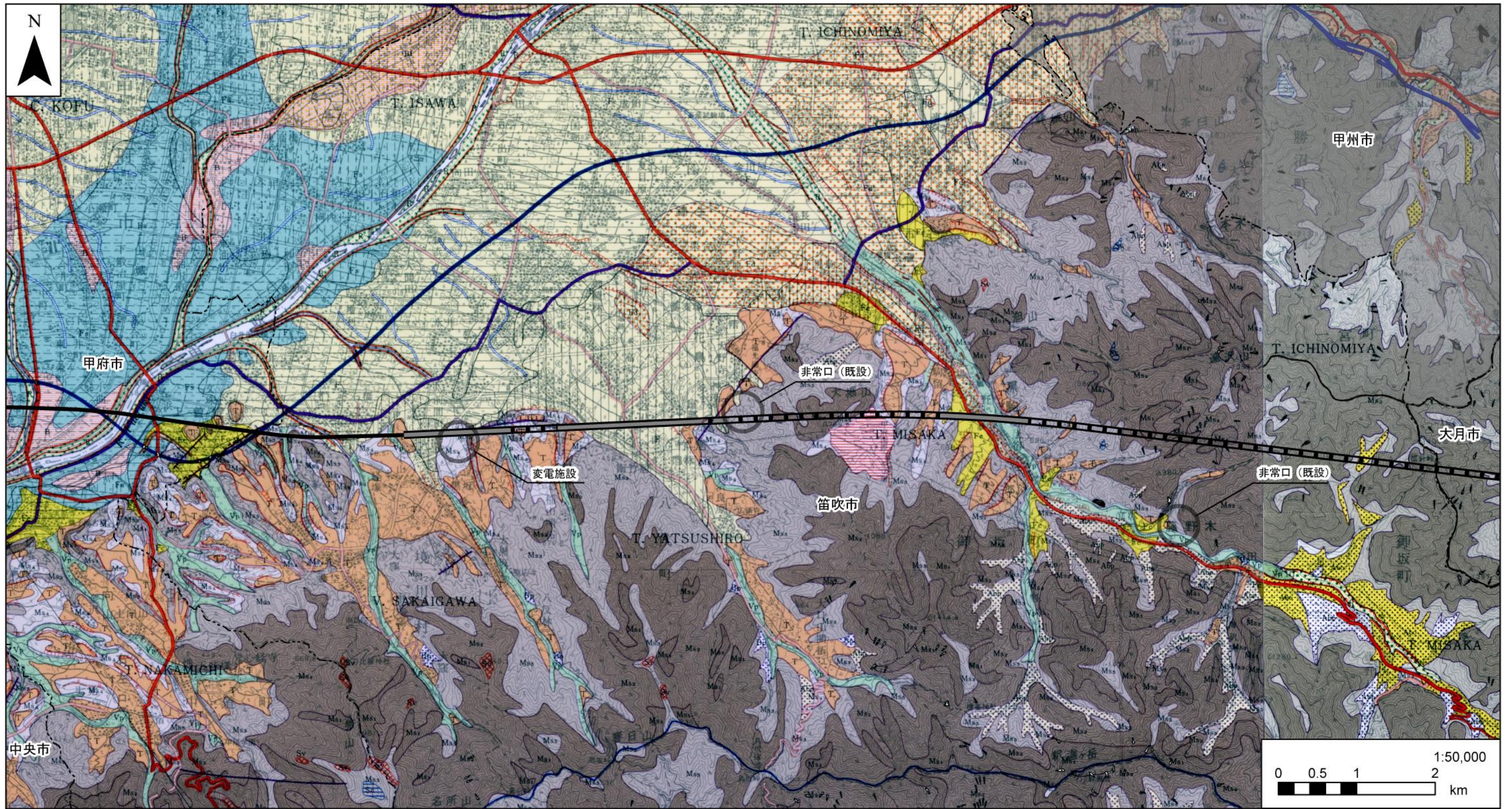
本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鯉沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-15(2) 地形分類図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 凡例は、図4-2-1-15(6)に示す。

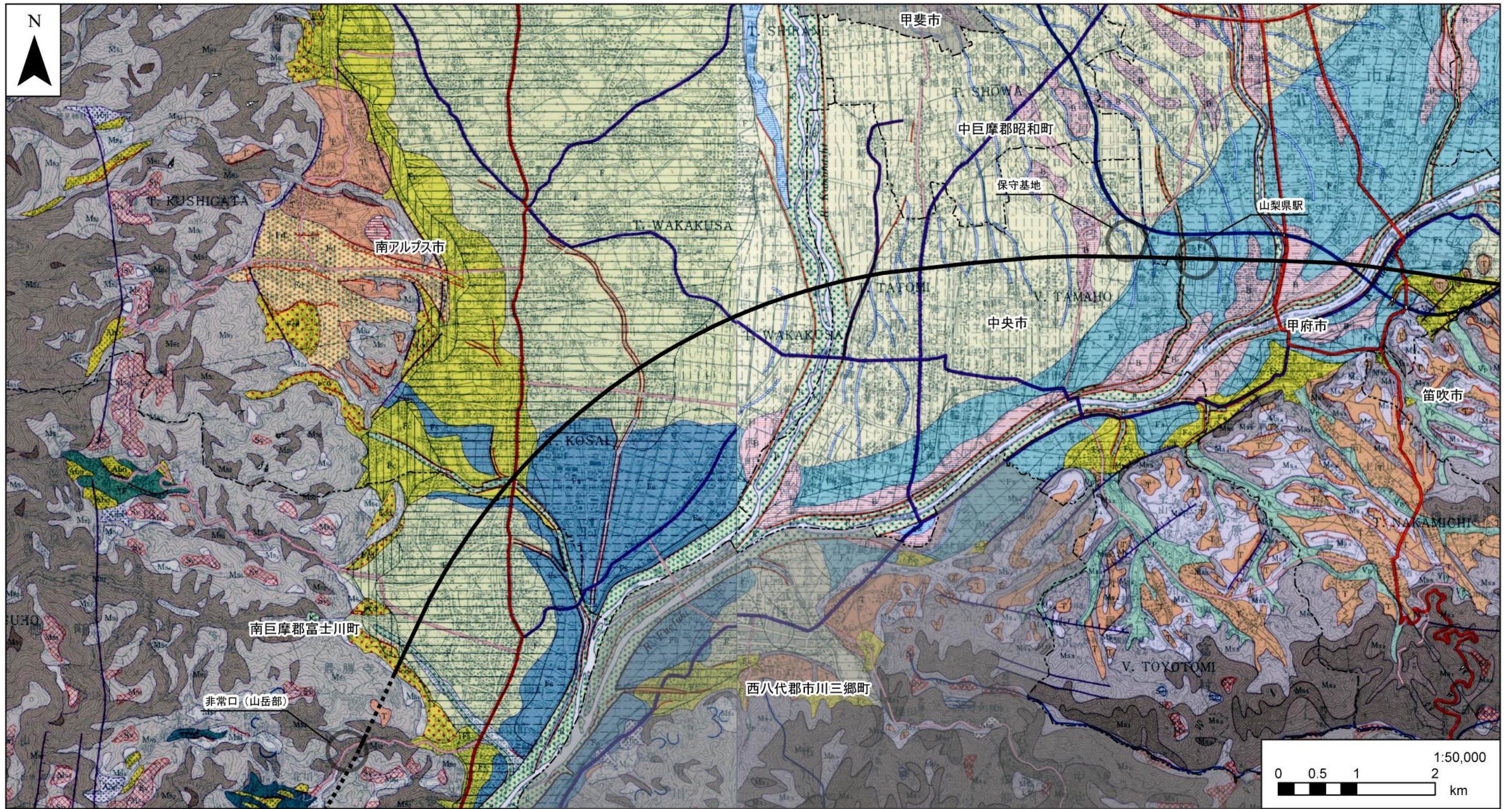
本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・諏沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-15(3) 地形分類図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 凡例は、図4-2-1-15(6)に示す。

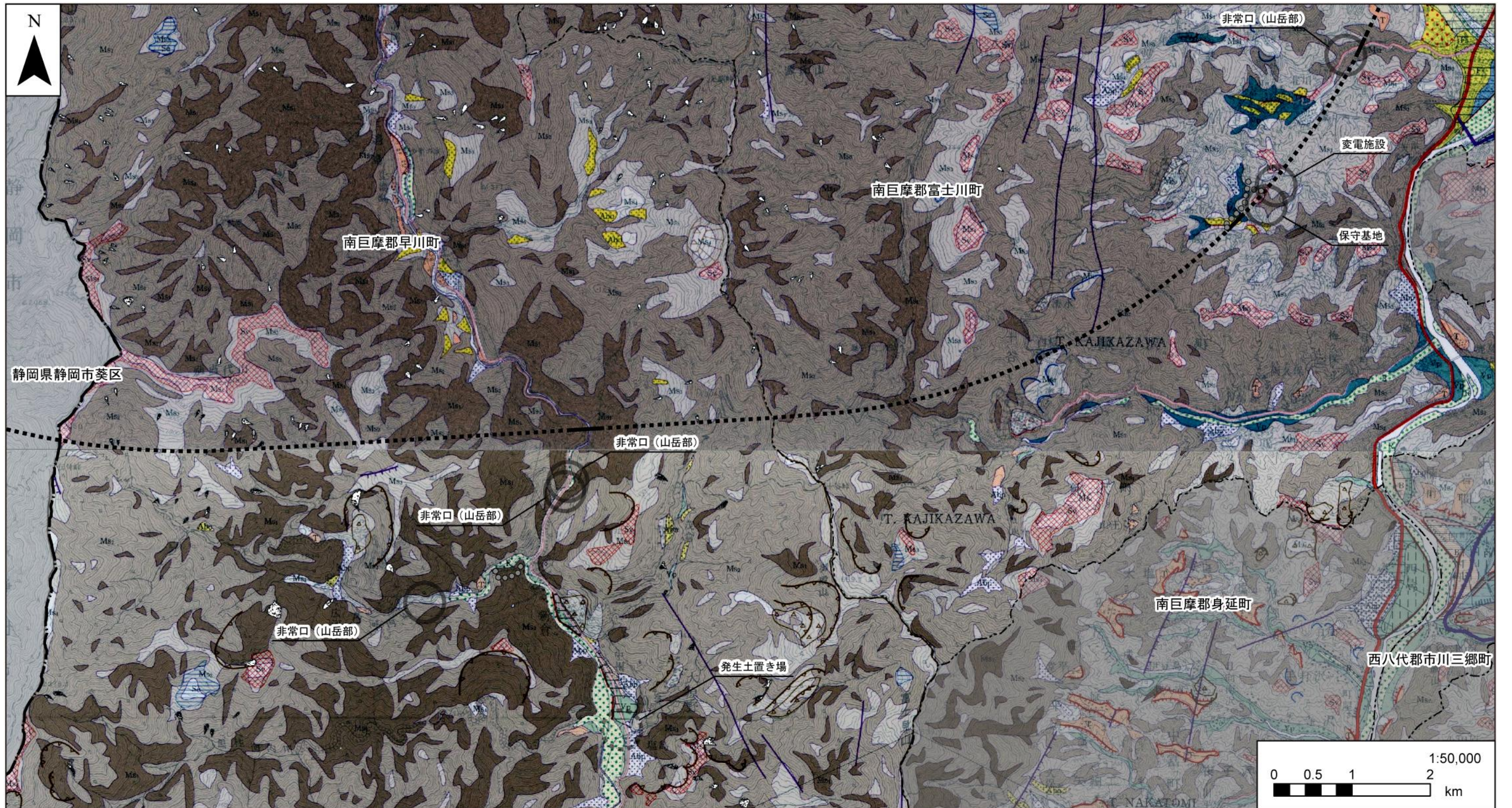
本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」「昭和63年、山梨県」「同 地形分類図(都留)」「昭和62年、山梨県)」、「同 地形分類図(甲府)」「昭和59年、山梨県)」、「同 地形分類図(大河原・諏沢)」「平成5年、山梨県)」、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」「平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-15(4) 地形分類図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 凡例は、図4-2-1-15(6)に示す。

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・皷沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-15(5) 地形分類図









上野原・五日市  
凡例

- 山地斜面**
- Ms<sub>1</sub> 山地斜面 > 40°
  - Ms<sub>2</sub> 山地斜面 > 30° ~ 40°
  - Ms<sub>3</sub> 山地斜面 > 15° ~ 30°
  - Ms<sub>4</sub> 山地斜面 < 15°
  - Sv 山頂および山稜平坦面、顕著な凸型斜面
  - Sc 顕著な凹型斜面
  - 崩壊崖
  - 崩壊地
  - Abp 新期土石流地形
  - Abc 古期土石流扇状地および堆積面
- 台地・低地**
- 低地 3° ~ 1/2°
  - T 砂礫台地
  - Vp 谷底平野
  - R 現河床
  - 崖, 比高 10~50m
  - 崖, 比高 10m 以下
- その他**
- 人工改変地
  - 活断層, 顕著なニアメント
  - 主要分水界
  - 地形界
  - 高速自動車道
  - 国道
  - 主要地方道
  - 県道

都留  
凡例

- 火山地**
- Vs<sub>4</sub> 火山斜面 < 15°
  - Vf 火山麓扇状地
  - L 熔岩流地
- 山地斜面**
- Ms<sub>1</sub> 山地斜面 > 40°
  - Ms<sub>2</sub> 山地斜面 > 30° ~ 40°
  - Ms<sub>3</sub> 山地斜面 > 15° ~ 30°
  - Ms<sub>4</sub> 山地斜面 < 15°
  - Sv 山頂および山稜平坦面、顕著な凸型斜面
  - Sc 顕著な凹型斜面
  - 崩壊崖
  - 崩壊地
  - Abp 新期土石流地形
  - Abc 古期土石流扇状地および堆積面
- 台地・低地**
- 低地 8° ~ 3°
  - 低地 3° ~ 1/2°
  - 低地 3° ~ 1/2°
  - T 砂礫台地
  - Fs 氾濫平野, 後背低地
  - F 扇状地
  - Vp 谷底平野
  - R 現河床
  - 崖, 比高 10~50m
  - 崖, 比高 10m 以下
- その他**
- 人工改変地
  - 活断層, 顕著なニアメント
  - 主要分水界
  - 堤防
  - 主要分水界
  - 地形界
  - 高速自動車道
  - 国道
  - 主要地方道
  - 県道

甲府  
凡例

- 火山山地**
- 火山山麓地 II
  - Lo 熔岩流地
  - P 火砕流台地
  - 急崖
- 山地・丘陵地斜面**
- Ms<sub>1</sub> 山地斜面 > 40°
  - Ms<sub>2</sub> 山地斜面 30° ~ 40°
  - Ms<sub>3</sub> 山地斜面 15° ~ 30°
  - Ms<sub>4</sub> 山地斜面 < 15°
  - Sv 山頂および山稜平坦面、顕著な凸型斜面
  - Sc 顕著な凹型斜面
  - 地すべり
  - 崩壊地
- 台地・低地**
- 低地 8° ~ 3°
  - 低地 3° ~ 1/2°
  - 低地 1/2° ~ 1/4°
  - 低地 < 1/4°
  - T 砂礫台地
  - F 扇状地
  - Fd 開析扇状地
  - Fc 小扇状地
  - Fs 氾濫平野, 後背低地
  - B 旧中州, ポイントバー
  - Bf 洪水堆積物 (明治40年)
  - Aw 旧流路
  - Vp 谷底平野
  - Bp 土石流地形
  - Abp 古期土石流斜面
  - R 現河床
  - 崖, 比高 50~100m
  - 崖, 比高 40~50m
  - 崖, 比高 10m 以下
- その他**
- 人工平坦地
  - 活断層, 顕著なニアメント
  - 堤防
  - 主要分水界
  - 地形界
  - 高速自動車道
  - 国道
  - 主要地方道
  - 県道

大河原・鵜沢  
凡例

- 山地斜面**
- Ms<sub>1</sub> 山地斜面 > 40°
  - Ms<sub>2</sub> 山地斜面 30° ~ 40°
  - Ms<sub>3</sub> 山地斜面 > 15° ~ 30°
  - Ms<sub>4</sub> 山地斜面 < 15°
  - Sv 山頂および山稜平坦面、顕著な凸型斜面
  - Sc 顕著な凹型斜面
  - 崩壊崖および崩落物質堆積面, 大崩壊崖
  - 地すべり性崩落崖
  - カール壁および氷河堆積物
  - 岩屑斜面 (non-vegetated)
  - 崩壊地
  - Abp 新期土石流地形
  - Abc 古期土石流扇状地および堆積面
- 台地・低地**
- 低地 8° ~ 3°
  - 低地 3° ~ 1/2°
  - 低地 1/2° ~ 1/4°
  - 低地 < 1/4°
  - T 砂礫台地
  - F 扇状地
  - Fd 開析扇状地
  - Fs 氾濫平野, 後背低地
  - Fc 小扇状地
  - Fcd 開析小扇地
  - Vp 谷底平野
  - R 現河床
  - 崖, 比高 50~100m
  - 崖, 比高 10~50m
  - 崖, 比高 10m 以下
- その他**
- 人工平坦地
  - 活断層, 顕著なニアメント
  - 堤防
  - 主要分水界
  - 地形界
  - 高速自動車道
  - 国道
  - 主要地方道
  - 県道

身延・赤石岳  
凡例

- 山地斜面**
- Ms<sub>1</sub> 山地斜面 > 40°
  - Ms<sub>2</sub> 山地斜面 > 30° ~ 40°
  - Ms<sub>3</sub> 山地斜面 > 15° ~ 30°
  - Ms<sub>4</sub> 山地斜面 < 15°
  - Sv 山頂および山稜平坦面、顕著な凸型斜面
  - Sc 顕著な凹型斜面
  - 地すべり性崩落崖および崩落物質堆積面
  - 地すべり性崩落崖
  - 大崩壊崖
  - 崩壊地
  - Abp 新期土石流地形
  - Abc 古期土石流扇状地および堆積面
- 台地・低地**
- 低地 3° ~ 1/2°
  - 低地 1/2° ~ 1/4°
  - T 砂礫台地
  - Fs 氾濫平野, 後背低地
  - Fc 小扇状地
  - Vp 谷底平野
  - Aw 旧流路
  - B 旧中州, ポイントバー
  - R 現河床
  - 崖, 比高 10~50m
  - 崖, 比高 10m 以下
- その他**
- 活断層, 顕著なニアメント
  - 堤防
  - 主要分水界
  - 地形界
  - 国道
  - 主要地方道
  - 県道

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鵜沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-15(6) 地形分類図(凡例)







## イ. 地 質

対象事業実施区域及びその周囲の表層地質図を図 4-2-1-16 に示す。

山梨県は、東北日本と西南日本を分ける中央地溝帯の南部に位置している。最も古い地層は、中世代から新世代古第三紀にかけ堆積した四万十帯で、南アルプスと関東山地に分布し、激しい褶曲作用を受けている。次に堆積した新世代新第三紀中新世の御坂層群は、主に緑色凝灰岩類（海底火山活動により噴出した凝灰岩が海水と接触して緑色に変質したもの（グリーン・タフ））からなり、御坂山地や巨摩山地に分布している。続いて、新世代新第三紀中新世から鮮新世にかけて、泥岩・砂岩・礫岩を主とした富士川層群が峡南地域に堆積した。四万十帯、御坂層群及び富士川層群は、いずれも海成層（海底で堆積した地層）で、生成後、陸化を伴う構造運動を受けたものであり、崩壊や地滑りを引き起こしやすい脆弱な地質である。

県中央部から北部にかけては、酸性深成岩類（花こう岩）が広く分布している。その貫入時期は新世代新第三紀と考えられており、一部の岩体は御坂層群に接触変成作用を与えている。甲府盆地内で掘られた温泉井戸によれば、地表から 800m～1,000m の深さのところでは花こう閃緑岩が確認されている。

新世代新第三紀の末期から第四紀にかけて、甲府盆地の北側で、水森火山、黒富士火山、八ヶ岳火山が相次いで活動した。これらの火山の噴出物は、前述の花こう閃緑岩を覆って堆積している。また、火山の休止期には砂礫層が堆積し、厚い地層を形成した。甲府盆地内も堆積物は、砂礫層が優勢で粘土層が少ないという特徴があり、甲府盆地の沈降と周辺山地の隆起という相対的な地盤運動が激しかったことを示している。これらの堆積物は、未固結から、半固結で、透水性がよく概ね深度 150m まで地下水、それ以深では微温水～温水を賦存している。

対象事業実施区域及びその周囲の主要な活断層<sup>(5)</sup>は、道志川断層、鶴島断層、扇山断層、曾根丘陵断層群、市之瀬断層群、楡形山断層群が存在する。

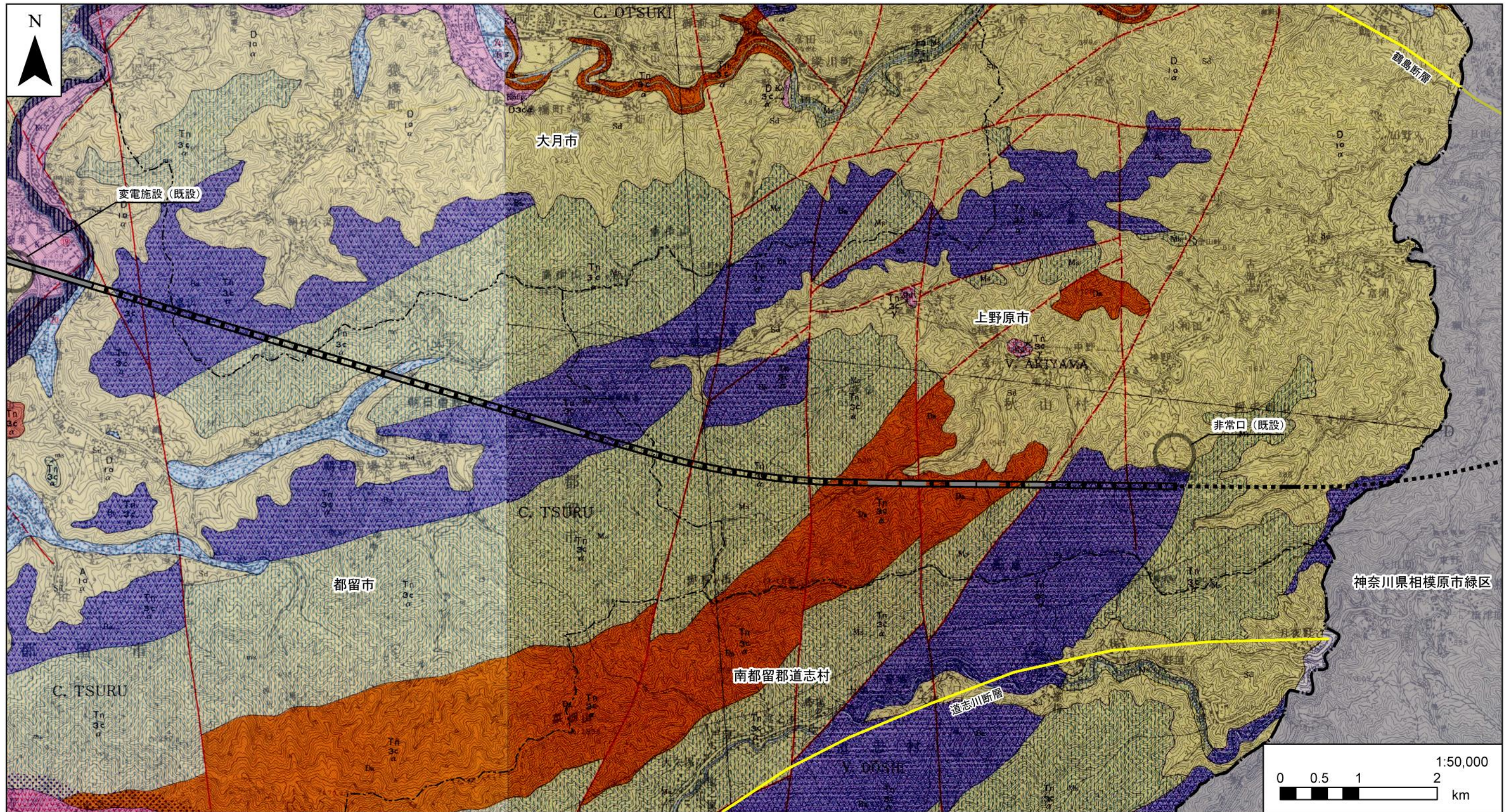
---

<sup>(5)</sup> 主要な活断層としては、『日本の活断層（平成 3 年、活断層研究会）』及び地震調査研究推進本部における活断層の長期評価資料に記載している活断層のうち、確実度または活動度が高いものを記載している。









凡例

- |     |                   |       |      |   |     |
|-----|-------------------|-------|------|---|-----|
| —   | 計画路線(新設区間(地上部))   | — —   | 都県境  | — | 活断層 |
| —   | 計画路線(既設区間(地上部))   | — — — | 市町村境 |   |     |
| ⋯⋯  | 計画路線(新設区間(トンネル部)) |       |      |   |     |
| ▬   | 計画路線(既設区間(トンネル部)) |       |      |   |     |
| ●●● | 工事用道路             |       |      |   |     |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 主要な活断層の位置形状については、「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会)及び地震調査研究推進本部における活断層の長期評価資料を参考に作成している。  
 注3. 凡例は、図4-2-1-16(6)～(7)に示す。

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鯉沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

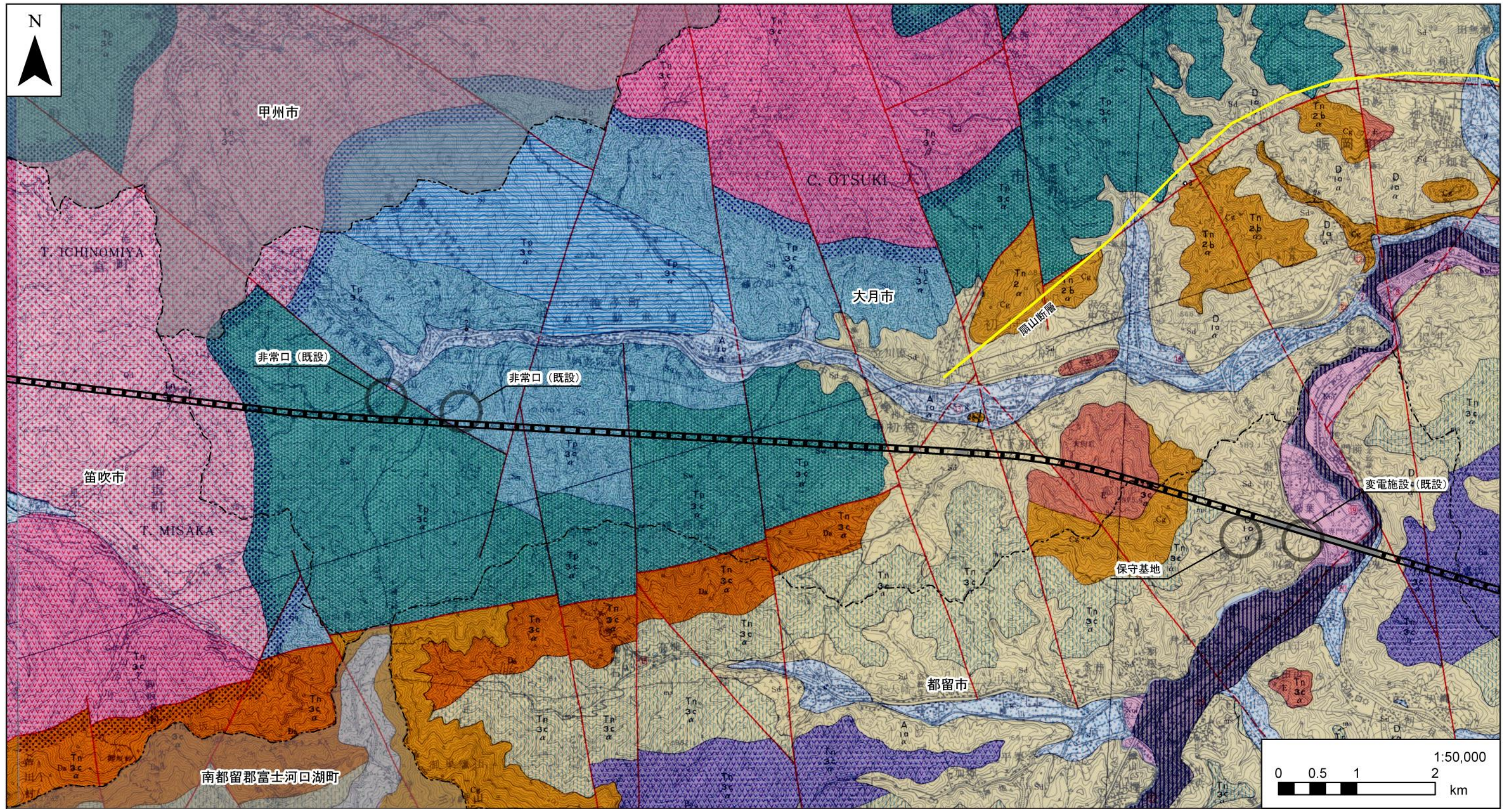
資料:「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会) p.146～147、p.170～171

図4-2-1-16(1) 表層地質図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境
- 活断層

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 主要な活断層の位置形状については、「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会)及び地震調査研究推進本部における活断層の長期評価資料を参考に作成している。  
 注3. 凡例は、図4-2-1-16(6)~(7)に示す。

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鯉沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

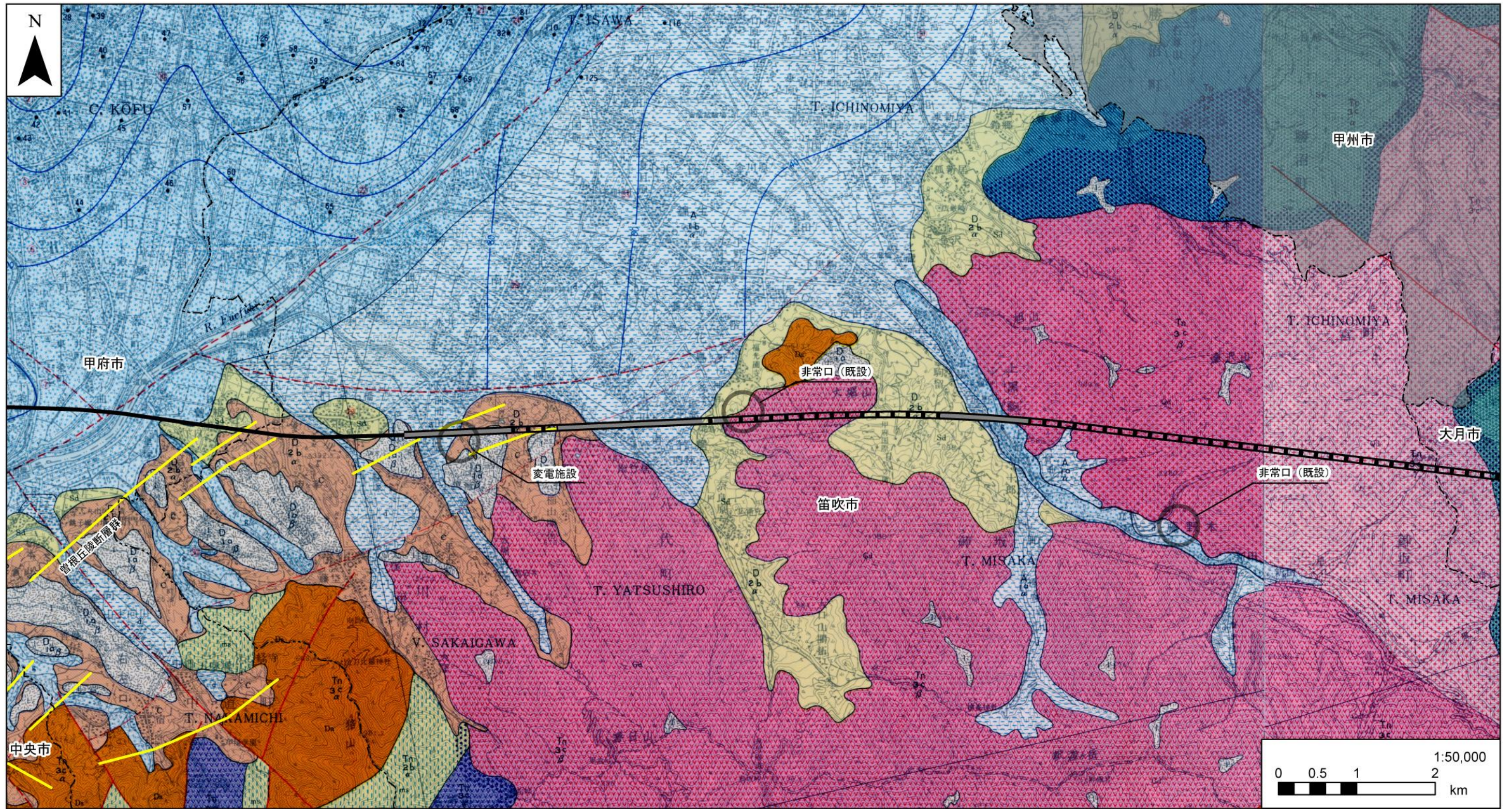
資料:「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会) p.146~147、p.170~171

図4-2-1-16(2) 表層地質図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▣ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境
- 活断層

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 主要な活断層の位置形状については、「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会)及び地震調査研究推進本部における活断層の長期評価資料を参考に作成している。  
 注3. 凡例は、図4-2-1-16(6)～(7)に示す。

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鯉沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

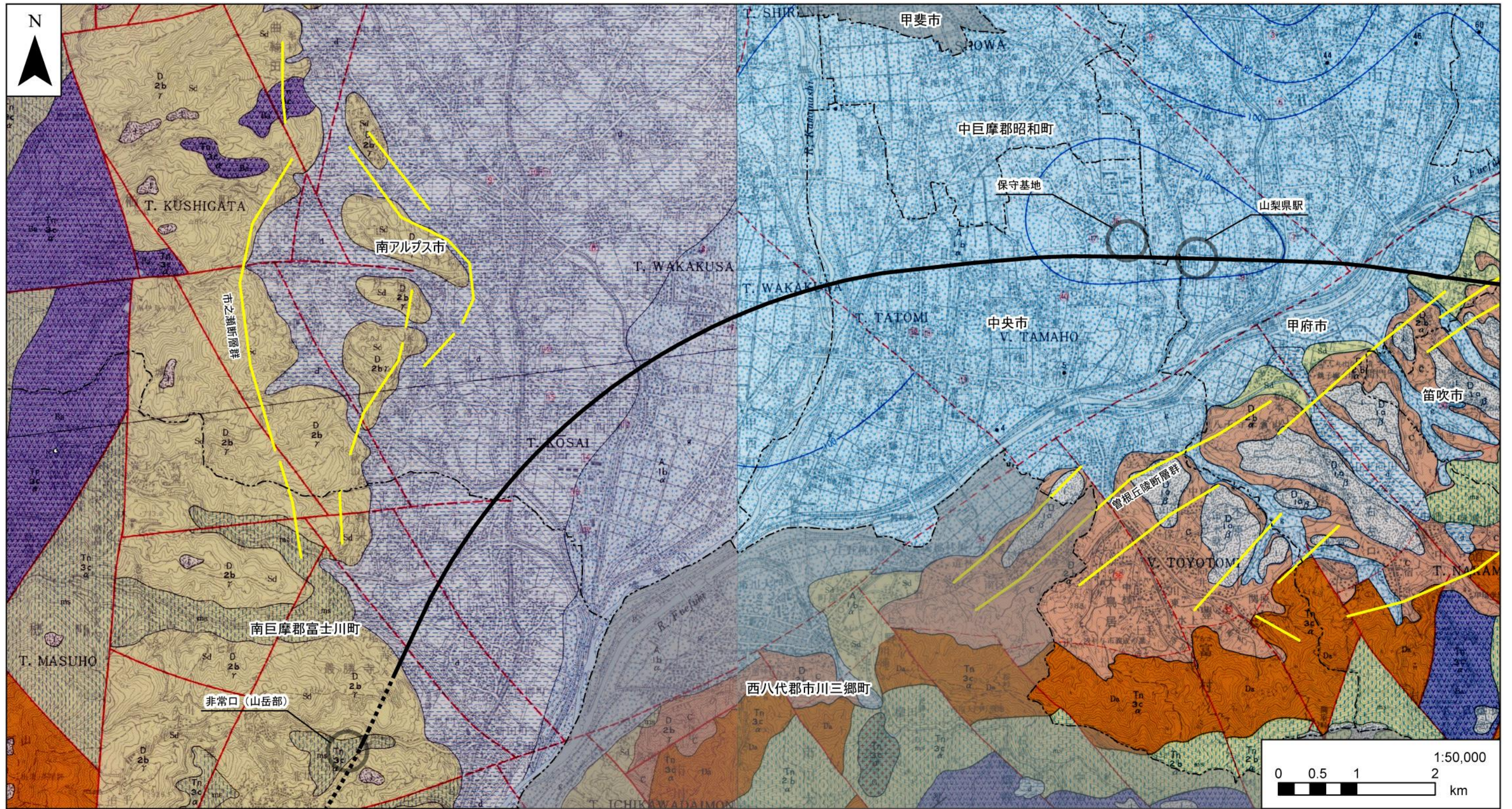
資料:「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会) p.146～147、p.170～171

図4-2-1-16(3) 表層地質図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境
- 活断層

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 主要な活断層の位置形状については、「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会)及び地震調査研究推進本部における活断層の長期評価資料を参考に作成している。  
 注3. 凡例は、図4-2-1-16(6)～(7)に示す。

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鯉沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

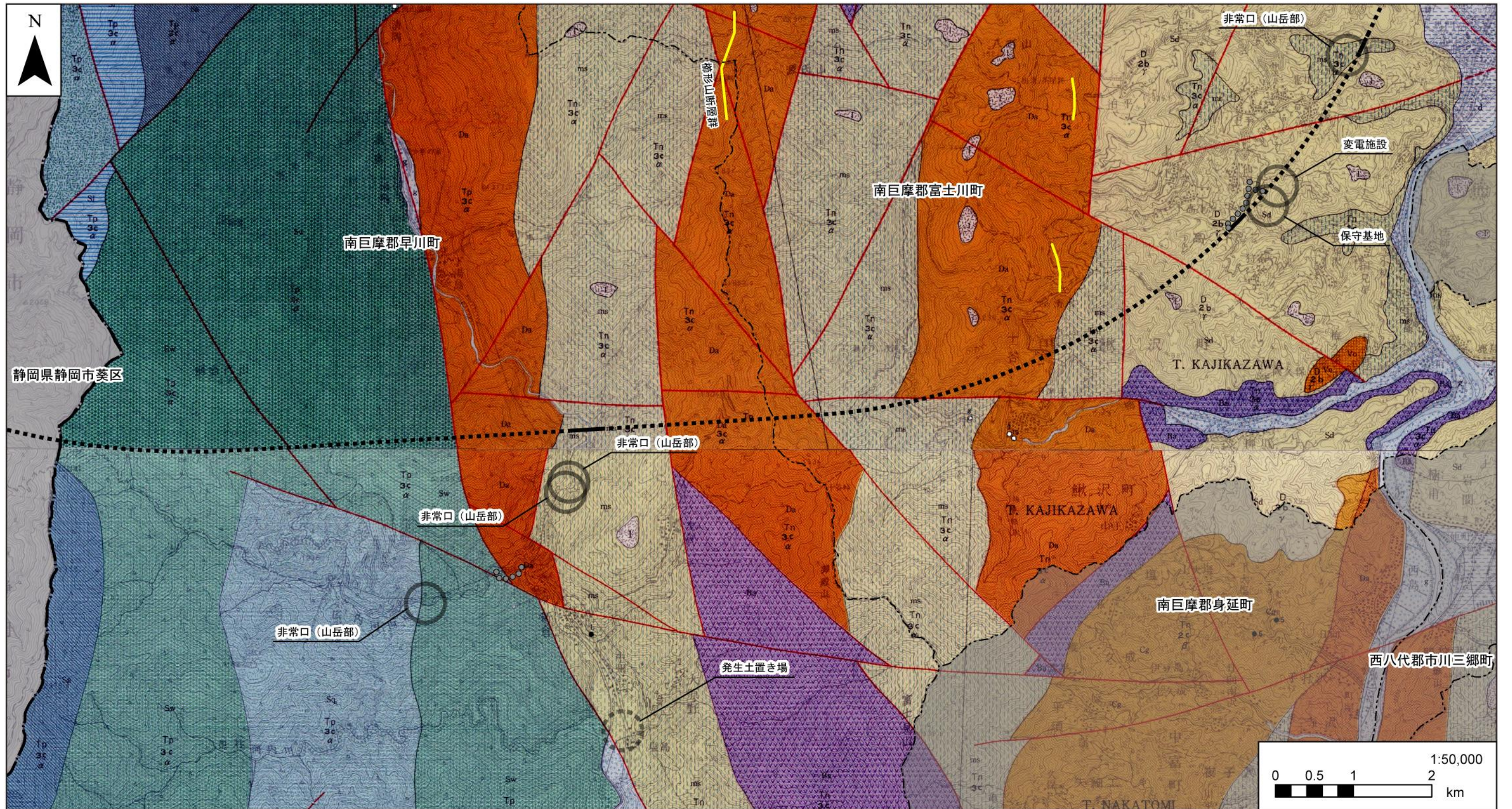
資料:「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会) p.146～147、p.170～171

図4-2-1-16(4) 表層地質図









凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境
- 活断層

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 主要な活断層の位置形状については、「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会)及び地震調査研究推進本部における活断層の長期評価資料を参考に作成している。  
 注3. 凡例は、図4-2-1-16(6)～(7)に示す。

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・皷沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

資料:「日本の活断層」(平成3年、活断層研究会) p.146～147、p.170～171

図4-2-1-16(5) 表層地質図



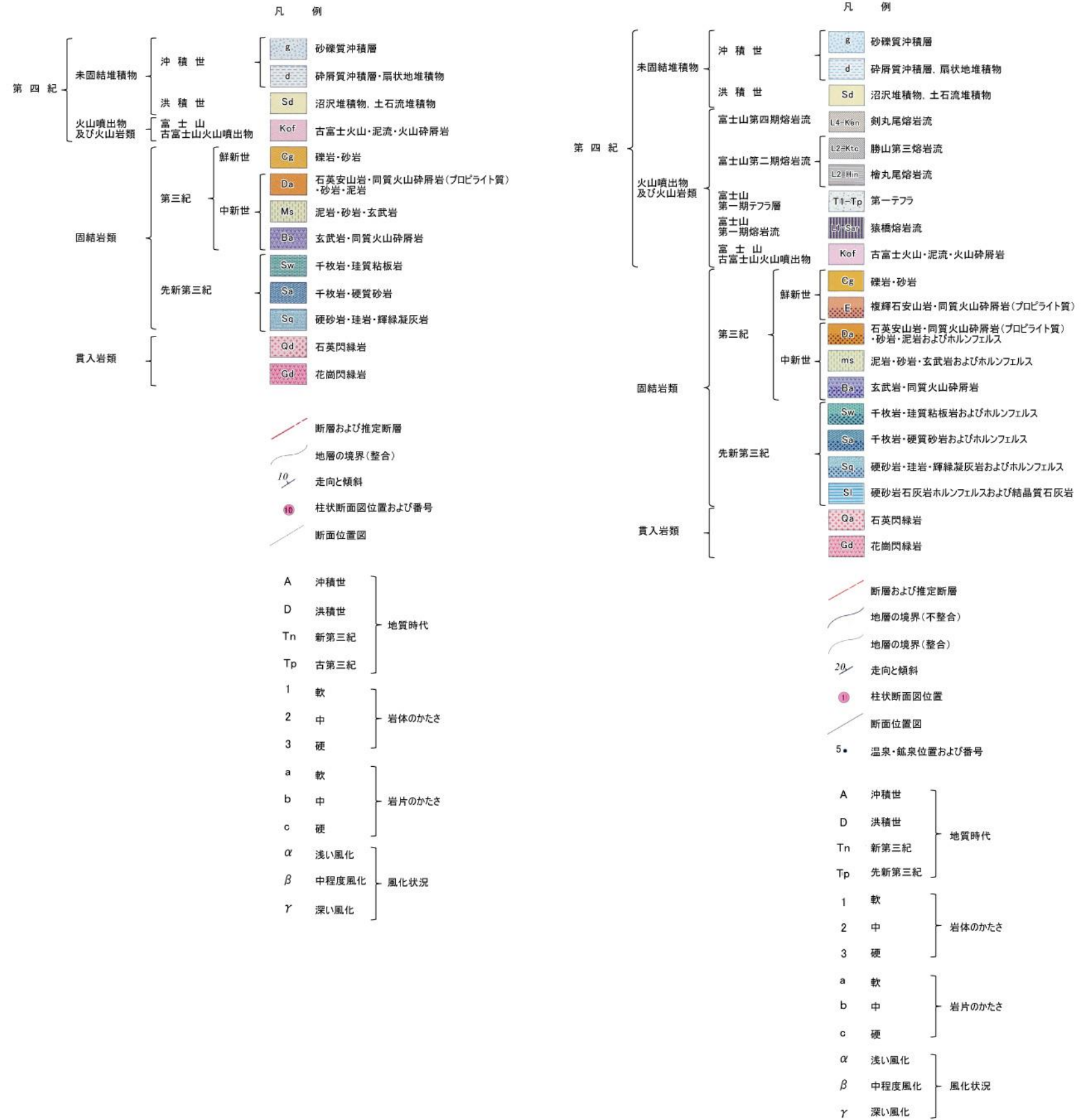






上野原・五日市

都留



本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鰺沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-16(6) 表層地質図(凡例)



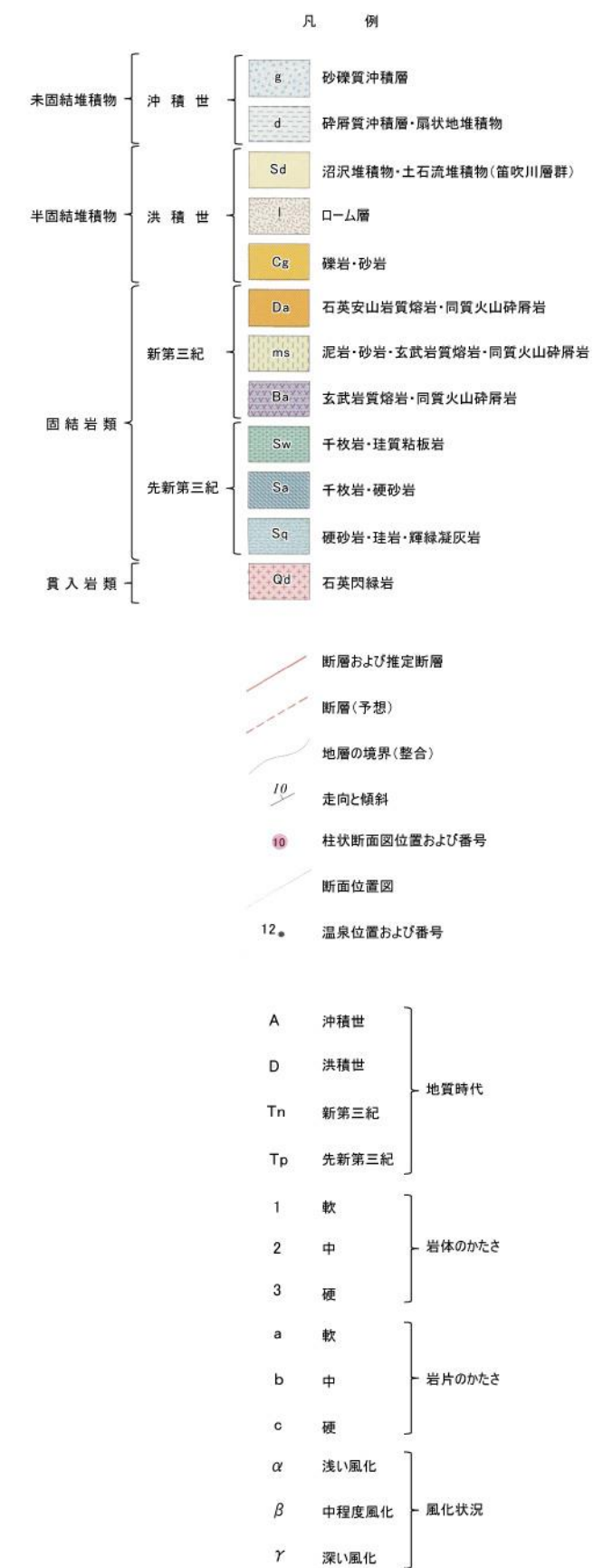
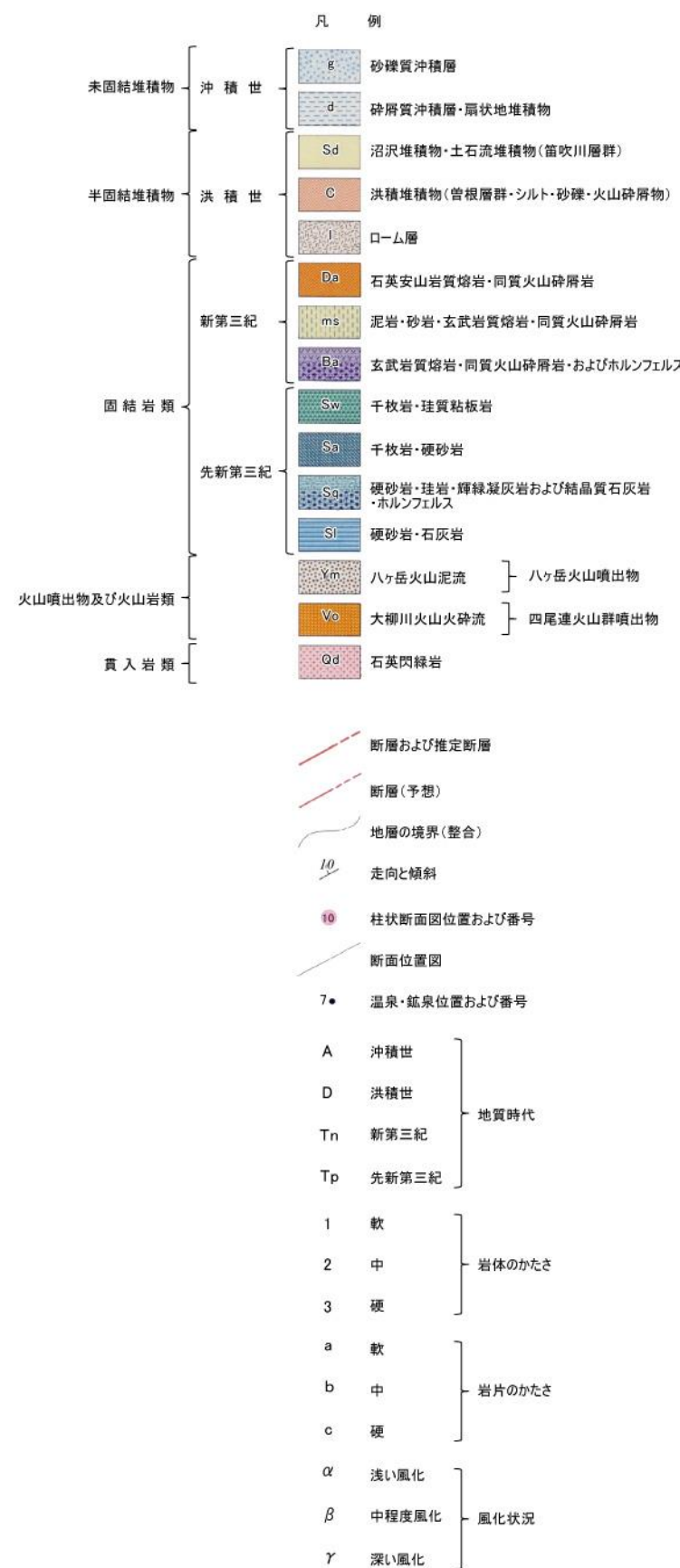
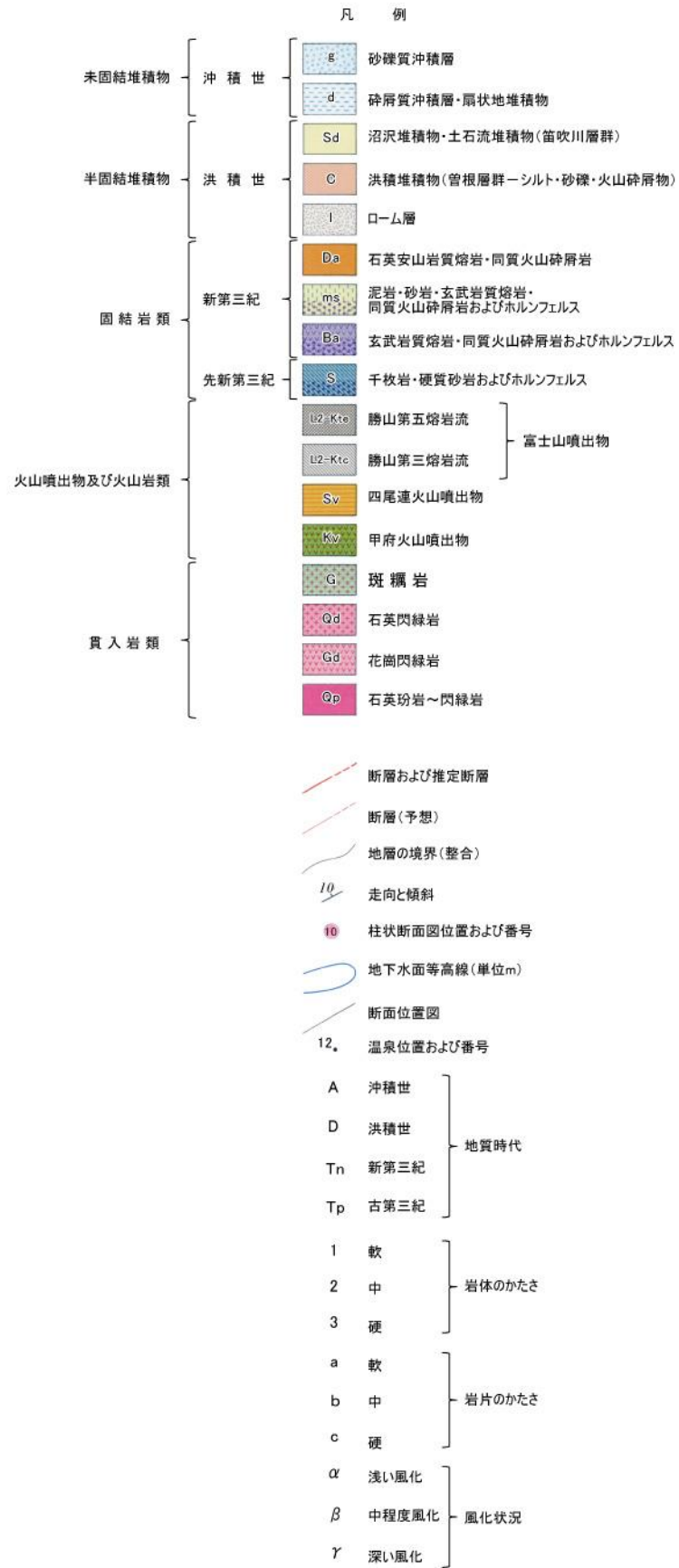




甲府

大河原・鯉沢

身延・赤石岳



本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(上野原・五日市)」(昭和63年、山梨県)「同 地形分類図(都留)」(昭和62年、山梨県)、「同 地形分類図(甲府)」(昭和59年、山梨県)、「同 地形分類図(大河原・鯉沢)」(平成5年、山梨県)、「同 地形分類図(身延・赤石岳)」(平成元年、山梨県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図4-2-1-16(7) 表層地質図(凡例)







#### 4) 鉱山の状況

対象事業実施区域及びその周囲の鉱山の分布状況は、図 4-2-1-17 及び表 4-2-1-62 に示すとおりであり、休廃止鉱山が 2 箇所存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の鉱区（鉱物に関する採掘権、試掘権）の分布状況を表 4-2-1-63 に示す。

表 4-2-1-62 鉱山の分布状況

種別	鉱山名	所在地	鉱種名
休廃止鉱山	宝	都留市高畑	銅
	茂倉	南巨摩郡早川町	銅・亜鉛・せっこう

資料：「関東地方土木地質図解説書」（平成 8 年 3 月、関東地方土木地質図編纂委員会）p. 711

表 4-2-1-63 鉱区（鉱物に関する採掘権、試掘権）の分布状況（平成 25 年 6 月現在）

区分	No.	所在地	鉱種名
採掘権	第 53 号	早川町	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、石膏
	第 55 号	大月市	石炭
	第 73 号	大月市、都留市	石炭
	第 96 号	上野原市	石灰石、ドロマイト
試掘権	第 2403 号	早川町	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2404 号	早川町	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2405 号	早川町	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2406 号	早川町	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2412 号	都留市	金、銀、銅鉱、けい石
	第 2420 号	大月市、都留市	金、銀、銅鉱、けい石
	第 2421 号	大月市、都留市	金、銀鉱
	第 2422 号	都留市	金、銀、銅、鉄鉱
	第 2423 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2433 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2434 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2435 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2436 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2437 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2438 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2440 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2441 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
	第 2442 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石
第 2449 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石	
第 2451 号	大月市	金、銀、銅、鉛、亜鉛鉱、けい石	

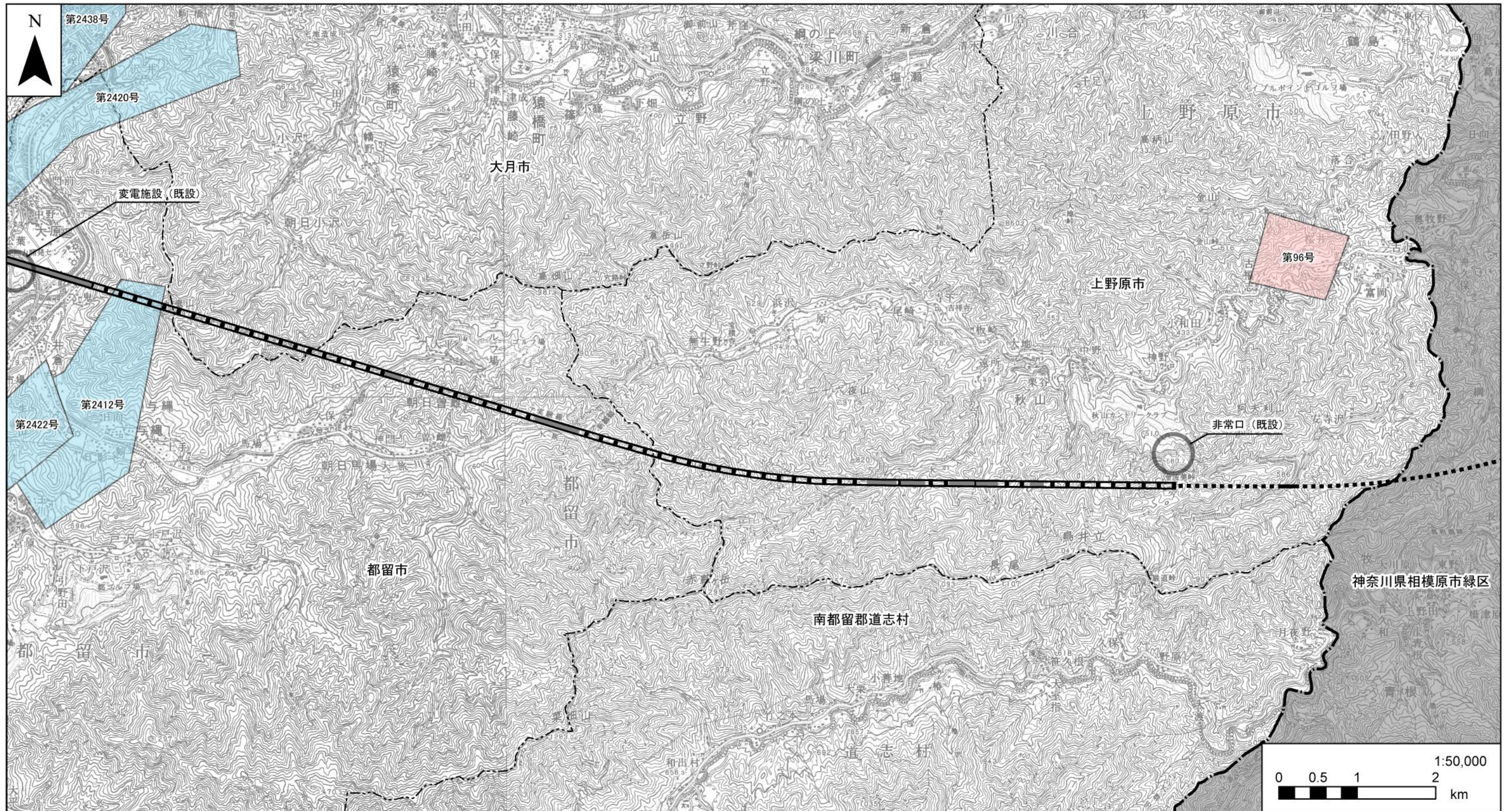
注1. 表中のNo.は、資料の記載をそのまま使用した。

資料：関東経済産業局鉱業課資料









凡例

- |                      |          |         |
|----------------------|----------|---------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))    | --- 都県境  | ● 休廃止鉱山 |
| — 計画路線(既設区間(地上部))    | --- 市町村境 | ■ 採掘権   |
| ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 試掘権   |
| ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))  |          |         |
| ●●● 工事用道路            |          |         |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

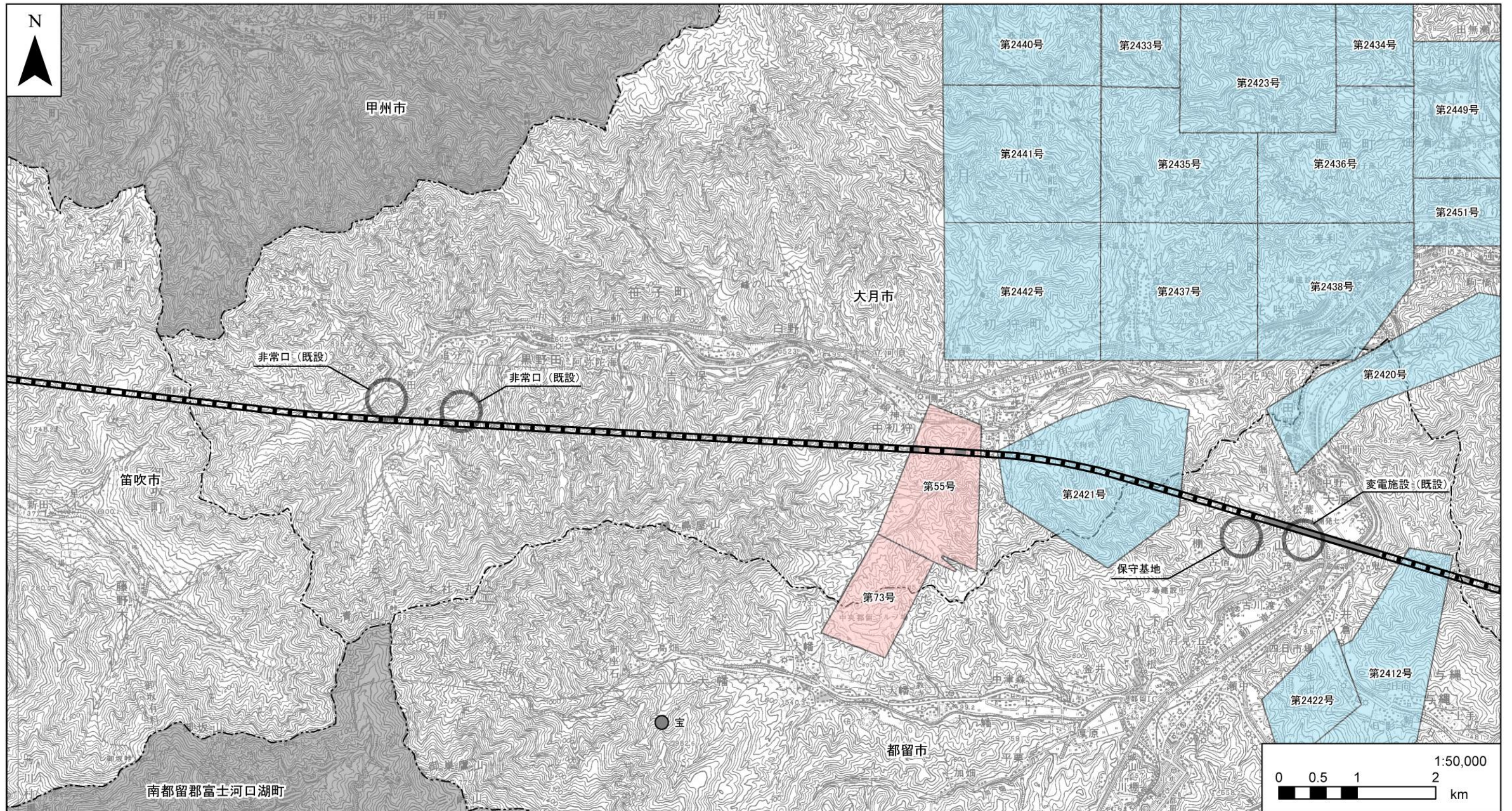
資料：「関東地方土地地質図解説書」（平成8年3月、関東地方土地地質図編纂委員会）p. 711  
関東経済産業局鉱業課資料

図4-2-1-17(1) 鉱山の分布図









凡例

- |                      |          |         |
|----------------------|----------|---------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))    | --- 都県境  | ● 休廃止鉱山 |
| — 計画路線(既設区間(地上部))    | --- 市町村境 | ■ 採掘権   |
| ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 試掘権   |
| ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))  |          |         |
| ●●● 工事用道路            |          |         |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

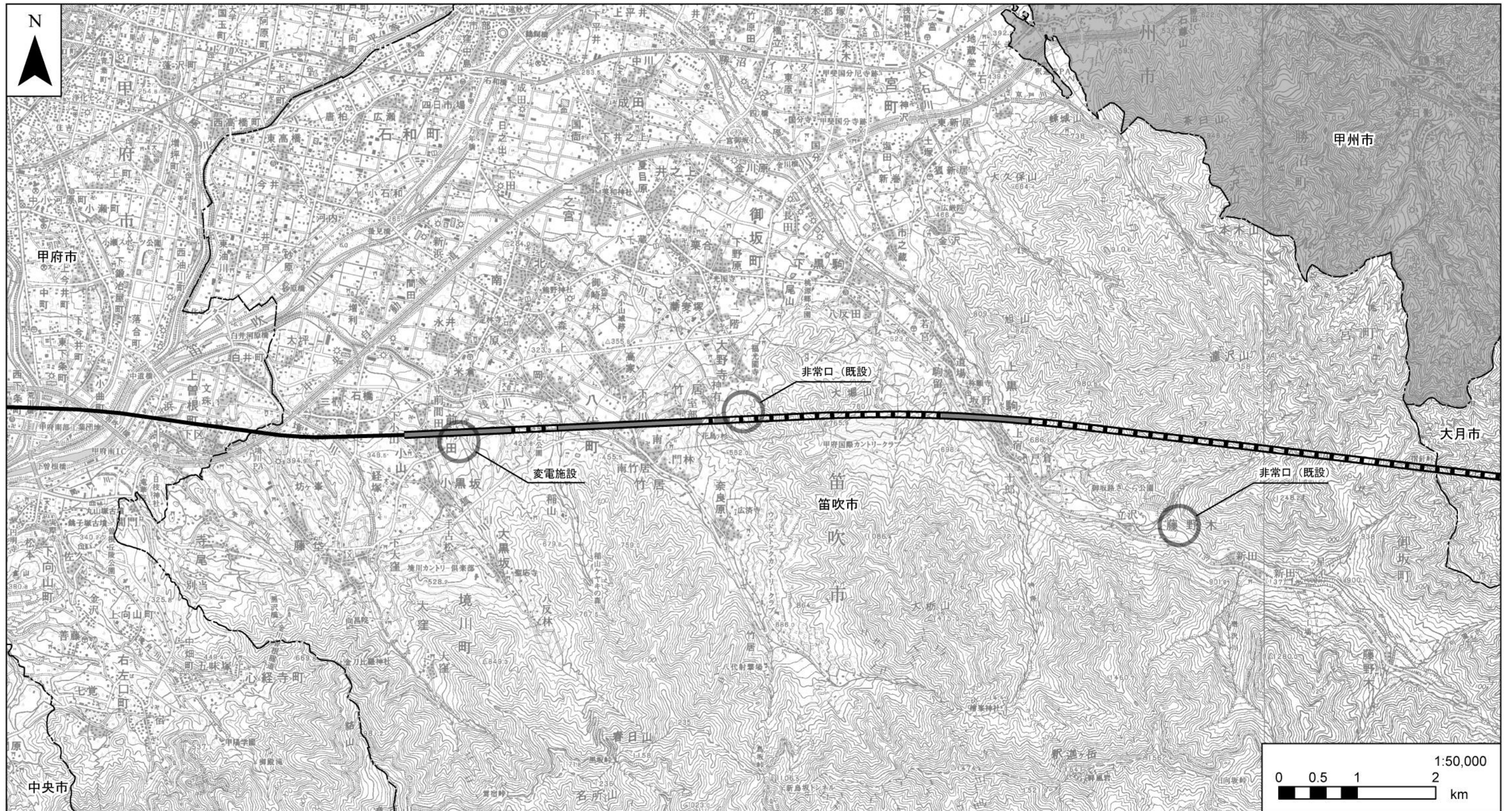
資料：「関東地方土地質図解説書」（平成8年3月、関東地方土地質図編纂委員会）p. 711  
関東経済産業局鉱業課資料

図4-2-1-17(2) 鉱山の分布図









凡例

- |                        |          |         |
|------------------------|----------|---------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))      | --- 都県境  | ● 休廃止鉱山 |
| — 計画路線(既設区間(地上部))      | --- 市町村境 | ■ 採掘権   |
| .... 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 試掘権   |
| ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))    |          |         |
| ●●● 工事用道路              |          |         |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。  
 注2. 本図には、鉱山の分布はない。

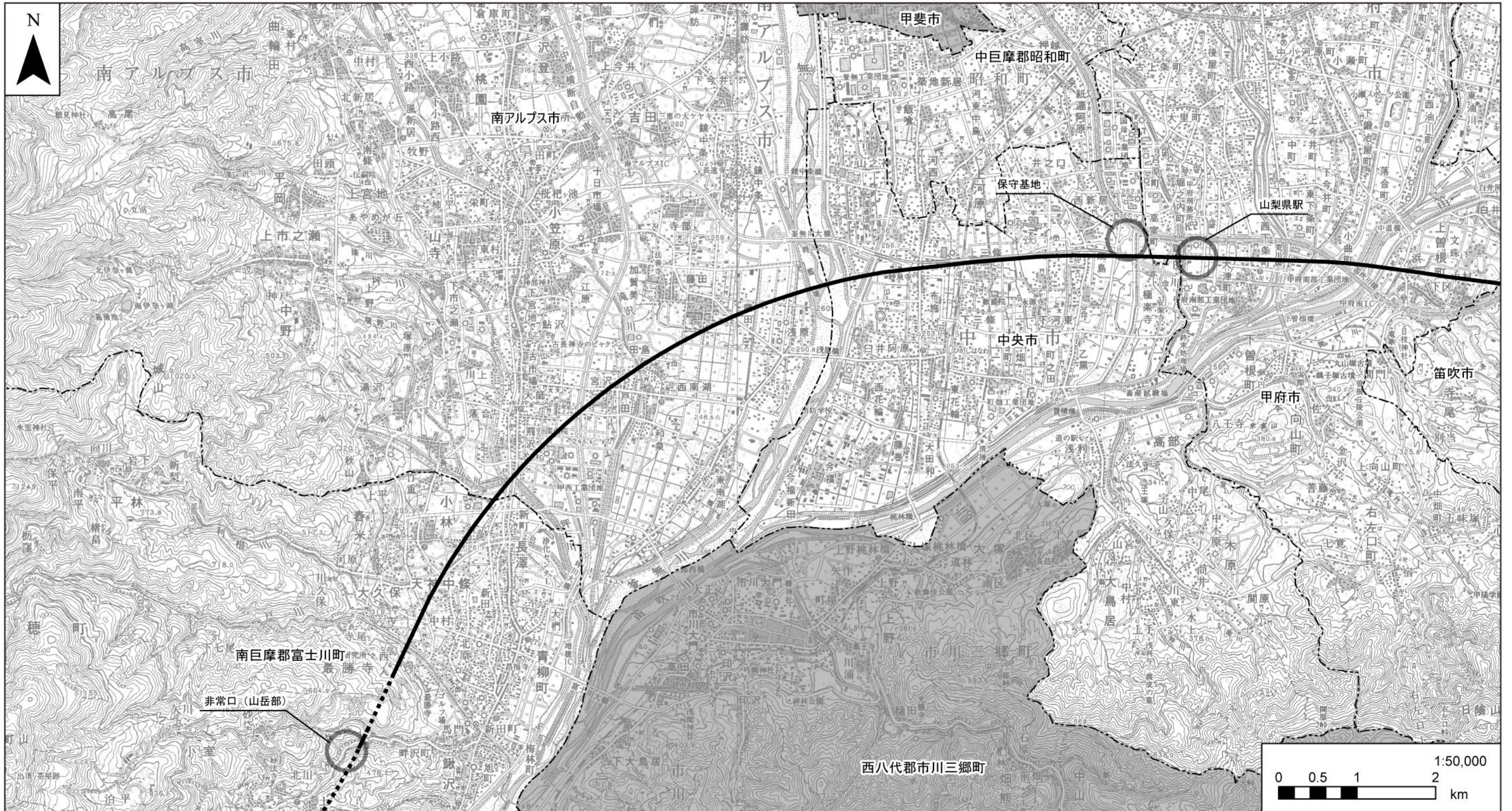
資料：「関東地方土地質図解説書」（平成8年3月、関東地方土地質図編纂委員会）p. 711  
 関東経済産業局鉱業課資料

図4-2-1-17(3) 鉱山の分布図









凡例

- |                       |          |         |
|-----------------------|----------|---------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))     | --- 都県境  | ● 休廃止鉱山 |
| — 計画路線(既設区間(地上部))     | --- 市町村境 | ■ 採掘権   |
| --- 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 試掘権   |
| — 計画路線(既設区間(トンネル部))   |          |         |
| ●●● 工事用道路             |          |         |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

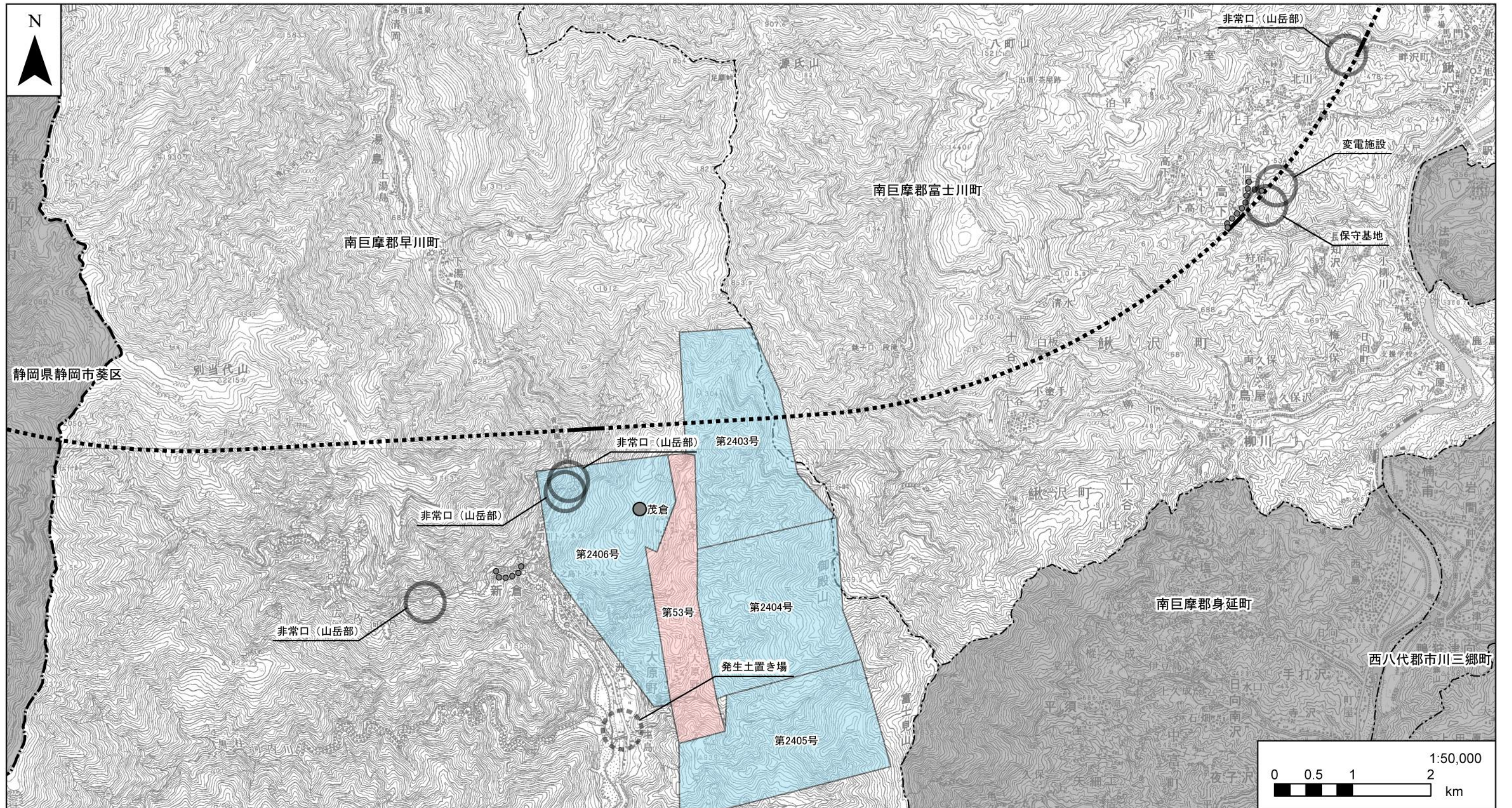
資料：「関東地方土地質図解説書」（平成8年3月、関東地方土地質図編纂委員会）p. 711  
関東経済産業局鉱業課資料

図4-2-1-17(4) 鉱山の分布図









凡例

- |                      |          |         |
|----------------------|----------|---------|
| — 計画路線(新設区間(地上部))    | --- 都県境  | ● 休廃止鉱山 |
| — 計画路線(既設区間(地上部))    | --- 市町村境 | ■ 採掘権   |
| ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) |          | ■ 試掘権   |
| ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))  |          |         |
| ●●● 工事用道路            |          |         |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「関東地方土地質図解説書」（平成8年3月、関東地方土地質図編纂委員会）p. 711  
関東経済産業局鉱業課資料

図4-2-1-17(5) 鉱山の分布図



